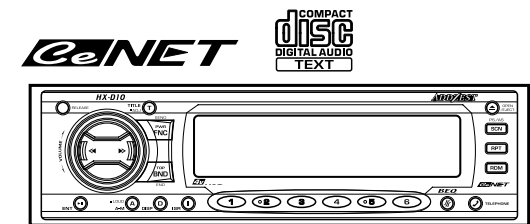


ADDZEST

CD/MD/DSP/EQ/AV/TEL-LINK コントロール,
AM/FM チューナー付 CD デッキ

HX-D10

取扱説明書



このたびは、アゼスト商品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

安全に正しくご利用いただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

保証書(別添)はお買い求めの販売店で記入いたしますので、内容をよくご確認のうえ、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

この取扱説明書には、本機で操作するCDチェンジャーおよびMDチェンジャーの操作説明も含まれています。CDチェンジャーおよびMDチェンジャーの取扱説明書には、操作説明は記載されておりません。

目次

はじめに

ご使用前に知っておいていただきたいご注意を説明しています。

主な特長	6
ご使用前に	8
安全に正しくお使いいただくために	8
安全上のご注意	9
本体のお手入れについて	12
ディスプレイについて	12
液晶画面について	12
エラー表示について	12
スロープコンソールについて	12
DCP部の取扱いについて	12
CDの演奏について	13
CDについて	13

本機の操作

本機に別販のパワーアンプとスピーカーを接続するだけでお楽しみいただける機能を説明しています。

各部の名称とはたらき

本体部	14
システムチェック時のディスプレイ表示	16
電源ON/OFF時のディスプレイ表示	17
各種設定/調整時のディスプレイ表示	18
モード別ディスプレイ表示	20
リモコン(RCB-147)の使いかた	24
別販リモコン(RCB-130)の使いかた	26

基本の操作

DCPの取り外しかた	28
DCPを取り付ける	28
電源を入れる	29
モードを選ぶ	29
音量を調節する	29
ラウドネスをON/OFFする	29
表示を切り換える	30
時刻を合わせる	31
音質を簡単に設定する(ビートEQ機能)	32
ビートEQ量を調整する	33
ノンフェダー出力の音量を調整する	33
トーンバイパスを設定する	34
音質を調整する(バス/ミッド/トレブル)	34
バランス/フェダーを調整する	36
タイトル表示を切り換える	37
タイトルをスクロールさせる	37

ラジオ放送を聴く

ラジオモードを選ぶ	38
受信バンドを切り換える	38
自動選局する(シーク選局)	38
手動選局する(マニュアル選局)	39
プリセット選局する	39
プリセットメモリーする	39
自動メモリーする(オートストア機能)	39
放送を確かめる(プリセットスキャン)	40
特定の放送局をすぐに選局する(ISR機能)	40

CDを聴く

CDを入れる	41
CDを取り出す	41
すでに入っているCDを聴く	42
曲を選ぶ	42
早送り/早戻しする	42
演奏を止める(一時停止する)	43
最初の曲から聴く(トップ機能)	43
聴きたい曲を探す(スキャン演奏)	43
1曲を繰り返し聴く(リピート演奏)	43
ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏)	43

タイトルをつける

タイトルを入力する	44
イーजीインプットをする	46
タイトルを削除する	47

設定を変更する(アジャストモード)

設定項目を選ぶ	48
ノンフェダー出力調整表示のON/OFFを設定する(NON-FADER)	49
ディスプレイ照明を設定する(DIMMER LV)	49
ディスプレイのコントラストを調整する(CONTRAST)	50
ボタンイルミネーションを設定する(KEY-ILLUMI)	50
スクリーンセ이버を設定する(AUTO SS)	51
メッセージを表示させる(MESSAGE)	52
ボタン操作時のピープ音を設定する(BEEP)	52
タイトルスクロール方法を設定する(AUTO SCROLL)	53
携帯用オーディオ(AUXモード)の入力レベルを設定する(AUX SENS)	53
チューナーエリアを設定する(TUNER AREA)	54
TVエリアを設定する(TV AREA)	55
TVダイバーシティーを設定する(TV DIVER)	56
電話の割り込みを設定する(TEL-SP)	56

外部機器の操作/その他については次ページをご覧ください。

目次

外部機器の操作

本機とパワーアンプおよびスピーカーの他に、別販品のCDチェンジャーやMDチェンジャー等を接続したときにお楽しみいただける機能を説明しています。

CD/MDチェンジャーを操作する

チェンジャーモードを選ぶ	57
聴きたいCD(またはMD)を選ぶ	58
曲を選ぶ	58
早送り/早戻しする	58
演奏を止める(一時停止)	59
最初の曲から聴く(トップ機能)	59
聴きたい曲を探す(スキャン演奏)	59
聴きたいCD(またはMD)を探す(ディスクスキャン演奏)	59
1曲を繰り返し聴く(リピート演奏)	59
1枚のCD(またはMD)を繰り返し聴く(ディスクリピート演奏)	60
ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏)	60
全CD(またはMD)の演奏をランダムに聴く(ディスクランダム演奏)	60

テレビを見る

TVモードを選ぶ	61
受信バンドを切り換える	61
自動選局する(シーク選局)	61
手動選局する(マニュアル選局)	61
プリセット選局する	62
プリセットメモリーする	62
自動メモリーする(オートストア機能)	63
放送を確かめる(プリセットスキャン)	63
ビデオを見る	63

DSPを操作する

ACプロセッサのモードを切り換える	64
DSFの操作(スタンダードモード)	65
リスニングポジションを設定する	65
リスニングポジションを調整する	65
DSFメニューを選ぶ	66
DSF効果をON/OFFする	67
DSFを調整/メモリーする(ユーザーメモリー)	67
G.EQの操作(スタンダードモード)	69
G.EQメニューを選ぶ	69
G.EQ効果をON/OFFする	69
G.EQを調整/メモリーする(ユーザーメモリー)	70
VSEの操作(プロモード)	71
VSEメニューを選ぶ	71
VSE効果をON/OFFする	71
VSEを調整/メモリーする(ユーザーメモリー)	72

P.EQの操作(プロモード)	73
P.EQメニューを選ぶ	73
P.EQ効果をON/OFFする	73
P.EQを調整/メモリーする(ユーザーメモリー)	74
ユーザーメニューにタイトルをつける	75
サブウーファー、オートラウドネス、再生帯域の出力の調整	76

携帯電話機を操作する

電話をかける(スーパースピードダイヤル)	77
着信電話を保留する	77
通話音量を調整する	77

その他の外部機器を操作する

MDデッキを操作する	78
携帯用オーディオを聴く(AUXモード)	78

その他

システムアップについて	79
CeNETケーブルについて	80
故障と思われる前に	81
エラー表示について	82
仕様	83
アフターサービスについて	裏表紙

主な特長

本機は、AM/FMラジオとCDデッキを内蔵し、別販のCDチェンジャー、MDチェンジャーまたはTVチューナーを接続してコントロールできるCeNET結線対応の1DINセンターユニットです。

本機をご使用いただくには、別販のパワーアンプが必要です。

フロントパネル

- ・大型ディスプレイを可能とした電動スロープコンソール機構
- ・アルミ材を使用した高級感あるフロントパネルを採用

表示部

- ・大型高輝度LCDディスプレイ採用

BEQ (Beat Equalizer)

- ・BASS BOOST、IMPACT、EXCITEの3パターンの音質効果をメモリーし、好みの音質を即座に設定できます。
- ・3バンド (LOW/MID/HIGH) の周波数帯域毎に、好みの音質に調整することが可能です。

高音質パーツ

- ・高音質RCAリード採用
- ・高音質キャパシター採用
- ・音質劣化を防ぐ銅メッキシャーシを採用

4Vハイボルトアウトプット (RCA出力)

- ・ノイズに強い4Vハイボルトアウトプット採用

携帯用オーディオ入力機能 (AUX入力)

- ・ポータブルCD/MD等が接続できるAUX入力端子 (RCA) を装備

CeNET (Clarion Entertainment Network: シーイーネット) 結線対応

- ・外部機器との結線に**CeNET**方式を採用。これにより、複数の外部機器接続時の中継BOXが不要になりました。
- ・MDデッキをセンターユニット (本機) から操作できるデッキコントロール機能
- ・CDチェンジャーおよびMDチェンジャーを合計2台まで接続および操作できるチェンジャーコントロール機能

ラジオチューナー部

- ・聴きたい放送局を、どのモードからでもワンタッチで選局するISR機能
- ・FM、AM各12局のプリセットが簡単なオートストア機能
- ・メモリー局を順に受信するプリセットスキャン機能
- ・チューナーエリアを選択するだけで、受信可能な周波数に対して自動的に放送局名を表示することができるエリアセレクト機能

CDプレーヤー部

- ・演奏中の曲を繰り返し演奏するリピート機能
- ・全曲の最初の10秒間ずつを演奏するスキャン機能
- ・1枚のディスクの曲を順不同に演奏するランダム機能
- ・CDテキスト対応

CD/MDチェンジャーコントロール部 (別販のチェンジャー接続時)

- ・演奏中の曲を繰り返し演奏するリピート機能
- ・演奏中のディスクを繰り返し演奏するディスクリピート機能
- ・全曲の最初の10秒間ずつを演奏するスキャン機能
- ・全ディスクの1曲目の最初の10秒間ずつを演奏するディスクスキャン機能
- ・1枚のディスクの曲を順不同に演奏するランダム機能
- ・収納している全ディスクの曲を順不同に演奏するディスクランダム機能

TVチューナーコントロール部 (別販のTVチューナー接続時)

- ・プリセットが簡単なオートストア機能で、TV1:6局、TV2:6局、合計12局をメモリー (エリアセレクト有)
- ・メモリーした放送局を7秒間ずつ受信するプリセットスキャン機能

TEL-LINKユニットコントロール (別販のTEL-LINKユニット接続時)

- ・携帯電話機のダイヤルメモリーを呼出して電話をかけるスーパースピードダイヤル機能

タイトル入力機能

- ・ラジオやTVの放送局やCDにタイトルをつけ、受信時やCD演奏時に表示させるタイトル機能
- ・MDのディスク名または曲名を表示させるタイトル機能 (MDチェンジャー接続時)

DSP/イコライザーコントロール (別販のDSP接続時)

- ・12種類のベーシック音場メニューと6種類のユーザー音場メニュー、各種の設定で自由に音場が変化できるデジタル・サウンド・フィールド (DSF)、およびグラフィックイコライザー (G.EQ)、パーチャルスペースイコライザー (VSE)、パラメトリックイコライザー (P.EQ) 機能 (DPH910接続時)
- ・きめ細かく調整できる5つのリスニングポジション機能

ステアリングリモートコントローラー

- ・ハンドル取付タイプのステアリングリモートコントローラーで主なオーディオ操作が可能です。

ご使用前に

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中には具体的な注意内容（左図の場合は指はさまれ注意）が描かれています。



⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中には具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



Ⓛ 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

安全のため、ご使用前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになったあとはいつでも見られる所(グローブボックスなど)に必ず保管してください。

安全上のご注意

使用上のご注意

⚠ 警告

走行中は運転者による操作をしない…

運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。



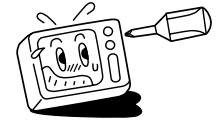
走行中はピラーアンテナやルーフアンテナの引き伸ばし操作をしない…

運転操作に支障をきたし、事故の原因となります。



本機を分解したり、改造しない…

事故や火災、感電の原因となります。



ディスプレイ部が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない…

事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談してください。



万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなどの異常が起こったときは、ただちに使用を中止し、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談する…

そのまま使用すると事故や火災、感電の原因となります。



■ ご使用の前に

⚠ 警告

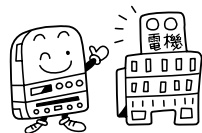
ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用する…

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。



本機の取り付け及び取り付けの変更は、安全のため、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご依頼する…

専門技術と経験が必要です。



⚠ 注意

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する…

車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となる事があります。



スロープコンソールの開閉時に、機構部に手や指を近づけない…

ケガの原因となることがあります。



ディスク挿入口に手や指を入れない…

ケガの原因となることがあります。



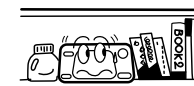
ディスク挿入口に異物を入れない…

火災や感電の原因となることがあります。



本機を車載用以外には使用しない…

感電やケガの原因となることがあります。



アンテナは、折れ曲がった状態で使用しない…

歩行者などに接触してケガの原因となることがあります。



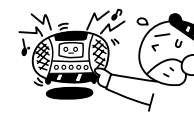
樹脂加工部に対してベンジンやシンナーなどの溶剤を使用して清掃しない…

部品変形により故障して、火災などの原因となることがあります。



電源を切るときは、音量を最小にする…

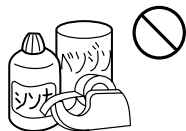
電源ON時に突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



ご使用の前に

本体のお手入れについて

本機をお手入れするときには、やわらかい乾いた布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布につけて軽くふきとり、乾いた布で仕上げてください。



注意

樹脂加工部に、ベンジンやシンナーなどの溶剤を使用しないでください。変質したり、塗料がはげる原因となります。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させておくと、シミのつくことがあります。

自動車用クリーナーなどは使用しないでください。変質したり、塗料がはげる原因となります。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させておくと、シミのつくことがあります。

ディスプレイについて

本機のディスプレイ部(アクリル部品)の一部分に、細いスジが見える場合があります。これは製造過程でやむを得ず生じるもので、「傷」や「ひび割れ」などではありません。また、本機の性能および安全性を損なうものではありません。

液晶画面について

非常に寒いときに、画面の動きが遅くなったり、画面が暗くなったりすることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。液晶画面の表示色が、本体の熱や車内の温度によって変色することがありますが、液晶特有の現象で、故障ではありません。常温に戻れば回復します。

エラー表示について

本機はシステム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。ディスプレイにエラーが表示されたときには、「エラー表示について」(82ページ)の項目を参照して障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作になります。

スロープコンソールについて

スロープコンソールは閉じた状態で使用してください。

本機を長時間使用しないときや、車側のエンジンキーをOFFにする場合は、安全のためスロープコンソールを閉じた状態にしてください。

スロープコンソールが完全に閉じる前に、ブレーキ音が出ることがありますが、これは安全機構上の動作音のため、故障ではありません。

スロープコンソールの開閉時に無理な操作や異常な使用をしないでください。

車側のアクセサリ電源が切れた状態でスロープコンソールを手で動かすと、ガタつきがおこることがあります。元の状態へ戻すには、車側のアクセサリ電源を入れてから、オープンボタンを押して、スロープコンソールを閉じてください。

操作ボタンや表示部に強い衝撃を加えると、破損や変形など故障の原因になります。

スロープコンソールは、ディスクをイジェクトした後、警報音を鳴らしてから、自動的に閉じた状態に戻ります。

スロープコンソールが閉じるときに指や異物などの障害がある場合は、安全機構がはたらき、開いた状態に戻ります。再び動作させるには、障害物を取り除いたあと、オープンボタンを押してください。

注意

スロープコンソールの開閉時には、指などを挟まないように注意してください。ケガの原因となることがあります。

DCP部の取扱いについて

DCP部は精密部品ですので、DCPを落としたりして、衝撃を与えないでください。また、絶対に水をつけないでください。

DCP部が汚れたときには、乾いたやわらかい布でふき取ってください。

CDの演奏について

車内が極度に冷えた状態のとき、ヒーターを入れてすぐに本機を使用すると、CDや光学部品が曇って正常な動作を行わないことがあります。CDが曇っているときは、やわらかい布でふいてください。また光学部品が曇っているときは、1時間ほど放置しておく、自然に曇りがとれ、正常な動作に戻ります。

本機は精密な機構を使用しているため、万一異常が発生したときでも、絶対にケースを開けて分解したり、回転部分に注油したりすることはやめてください。

CDを演奏中、振動の激しい悪路を走行すると、音飛びを起こすことがあります。

8cmシングルCDをイジェクトした状態で走行しないでください。走行中の振動により、ディスクが落下する恐れがあります。

CDについて

COMPACT disc または COMPACT disc DIGITAL AUDIO MARKのついたCDをご使用ください。

また、ハート形や八角形など、特殊形状のCDは使用しないでください。

CD-ROMは、本機では使用できません。

CD-Rで記録されたCDディスクは使用できない場合があります。また、CD-RWで記録されたCDディスクは使用できません。

取扱い上のご注意

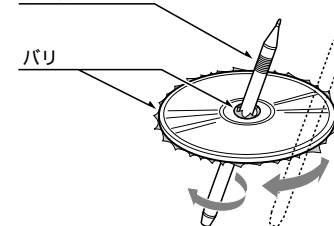
レーベル面(印刷面)に文字などを記入しないでください。

セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした痕があるCDは使用しないでください。そのままCDプレイヤーに入れると、CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

ディスク面に、傷や指紋をつけないように扱ってください。

新しいCDには、ディスクの周囲に「バリ」が残っていることがあります。このようなCDをご使用になると、動作しなかったり音飛びの原因となります。CDにバリがあるときは、ボールペンなどでバリを取り除いてからお使いください。

ボールペン



保管時のご注意

次のような場所には保管しないでください。

直射日光の当たる場所
湿気やホコリの多い場所
暖房の熱が直接当たる場所

お手入れ

汚れたときには、やわらかい布で、内側から外向かって、よくふいてください。従来のレコードクリーナー液やアルコールなどでふかないでください。

各部の名称とはたらき

本体部

RELEASE
リリースボタン
・DCPを外します。

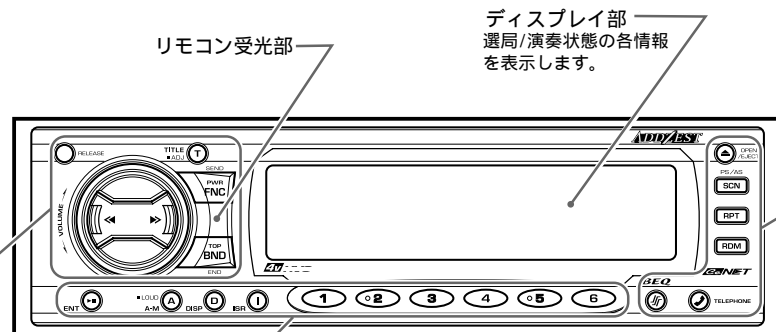
T **タイトルボタン**
・ラジオ/TV局の名称や、CDモードやCDチェンジャーモード時のディスプレイタイトルを入力/削除、MDチェンジャーモード時のタイトルスクロールなどに使います。
・押し続けて各種の設定や調整をするときに使います。

ロータリーボリューム
・時計方向または反時計方向に回して、音量を調整します。
・アジャストモード時には、各種の設定に使います。

サーチコントロールボタン
・ラジオ/TVモード時は選局に使います。
・CDモード時やCD/MDチェンジャーモード時には選曲に使います。
押し続けると早送り/早戻しを行います。

ファンクションボタン
・電源を入れ、各モードに切り換えます。電源を切るときは押し続け(約1秒間)ます。
・電話モード時には通話を開始します。

バンドボタン
・ラジオ/TVモード時は、バンドを切り換えます。また、押し続け(約1秒間)て自動選局か手動選局に切り換えます。
・CDモード時は最初の曲を演奏します。(トップ機能)
・CD/MDチェンジャーモード時は、ディスクの切り換えに使います。(ディスクアップ機能)
・電話モード時には通話を終了します。



ENT **プレイ/ポーズボタン**
・CDモードやCD/MDチェンジャーモード時は、演奏の一時停止をします。また、各種設定の決定をします。

LOUD **A** **オーディオモードボタン**
・音質とバランス/フェダーを調整します。
・押し続けると低音を強調します。(ラウドネス機能)

DISP **D** **ディスプレイボタン**
・ディスプレイ表示を切り換えます。
・押し続けると(約1秒間)ユーザータイトル/ディスクタイトルを切り換えます。

ISR **I** **ISRボタン**
・現在のモードにかかわらず、よくお聴きになるラジオ局をすぐに呼び出します。(ISR機能)

1 **6** **ダイレクトボタン**
・ラジオ/TVモード時には、放送局をメモリーして直接呼び出します。
・CD/MDチェンジャーモード時にはディスクを選択します。
・電話モード時には、ダイヤルメモリーを呼び出します。

OPEN/EJECT **オープンボタン**
・スロープコンソールをオープンし、CDをイジェクトします。

PS/AS **SCN** **スキャンボタン**
・CDモード、CD/MDチェンジャーモード時に、約10秒間ずつスキャン演奏します。
・ラジオ/TVモード時に、自動的に放送局をメモリーしたり、メモリーされた放送局を確認できます。

RPT **リピートボタン**
・CDモード、CD/MDチェンジャーモード時に、繰り返し演奏します。

RDM **ランダムボタン**
・CDモードまたはCD/MDチェンジャーモード時に、ランダム演奏をします。

BEQ **ビートEQボタン**
・音質を3段階に切り換えます。

TELEPHONE **電話ボタン**
・電話モードに切り換えます。

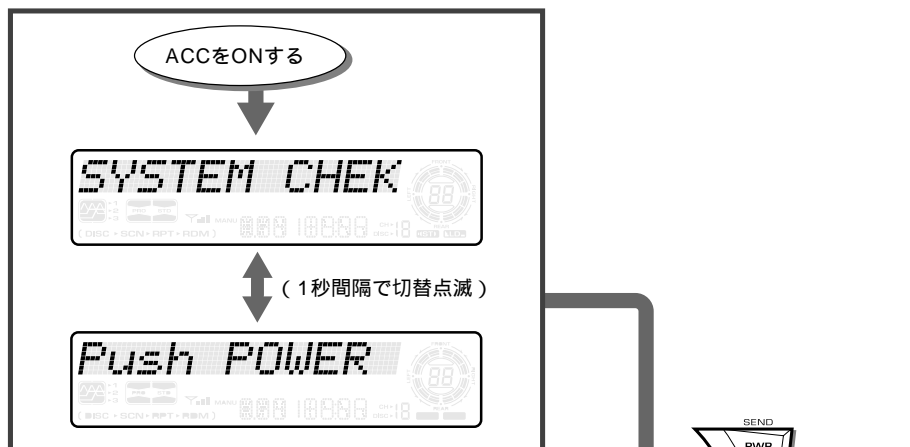
スロープコンソールオープン状態

スロープコンソールの正面イラストは省略して書いています。

本機の操作

各部の名称とはたらき

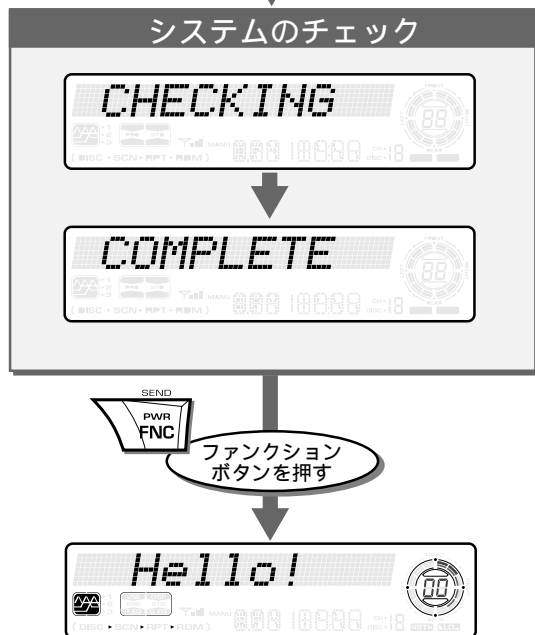
システムチェック時のディスプレイ表示



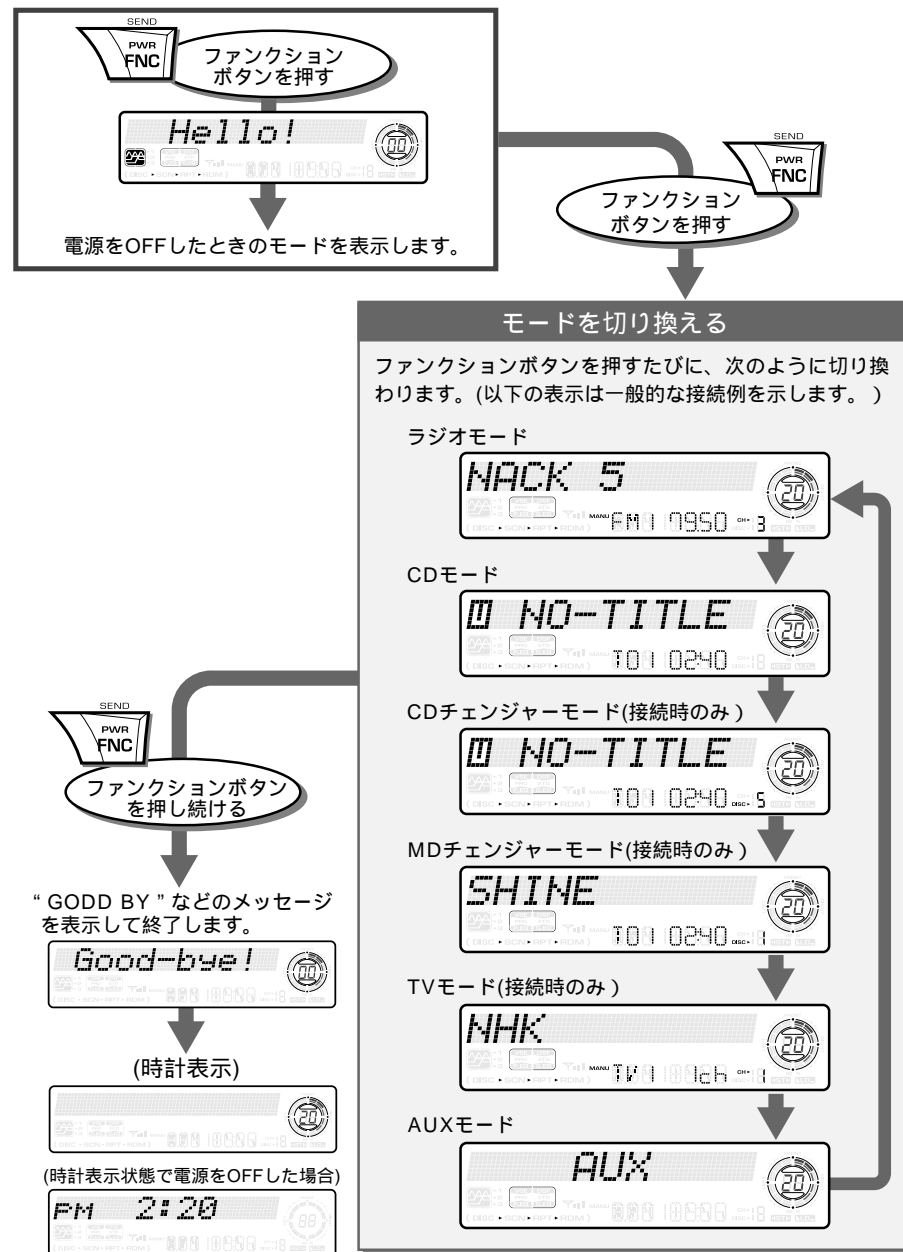
システムチェックについて

本機に採用されているCeNET方式はシステムチェック機能を採用しています。ディスプレイのシステムチェック表示は次のようなときに表示されますので、電源ボタンを2回押して通常モードに戻してください。

- 本機の取り付け直後に電源を入れたとき
- 外部機器を接続または取り外したとき
- バッテリー交換等で電源が切れたとき
- リセットボタンを押したとき



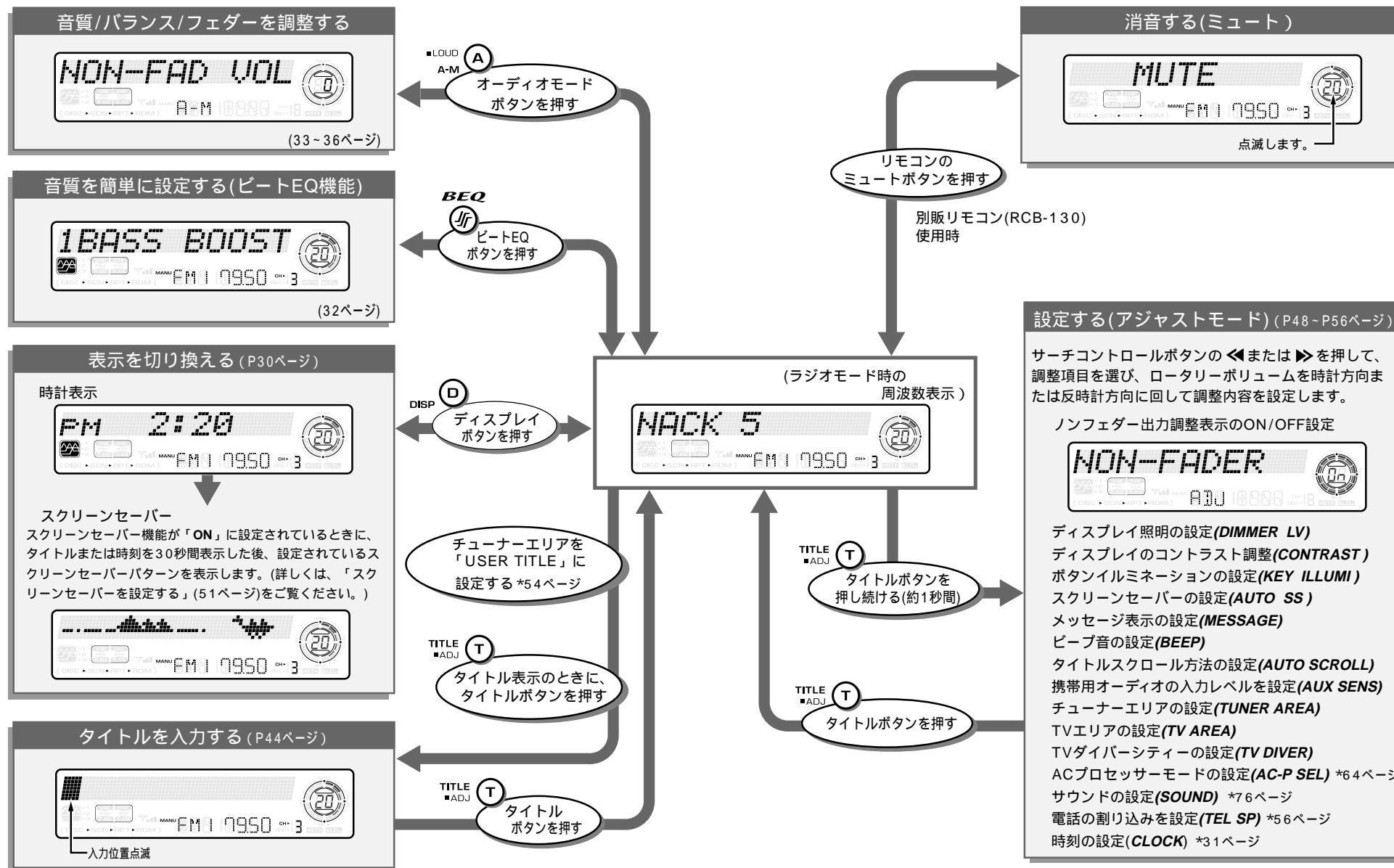
電源ON/OFF時のディスプレイ表示



本機
の
操
作

各部の名称とはたらき

各種設定/調整時のディスプレイ表示

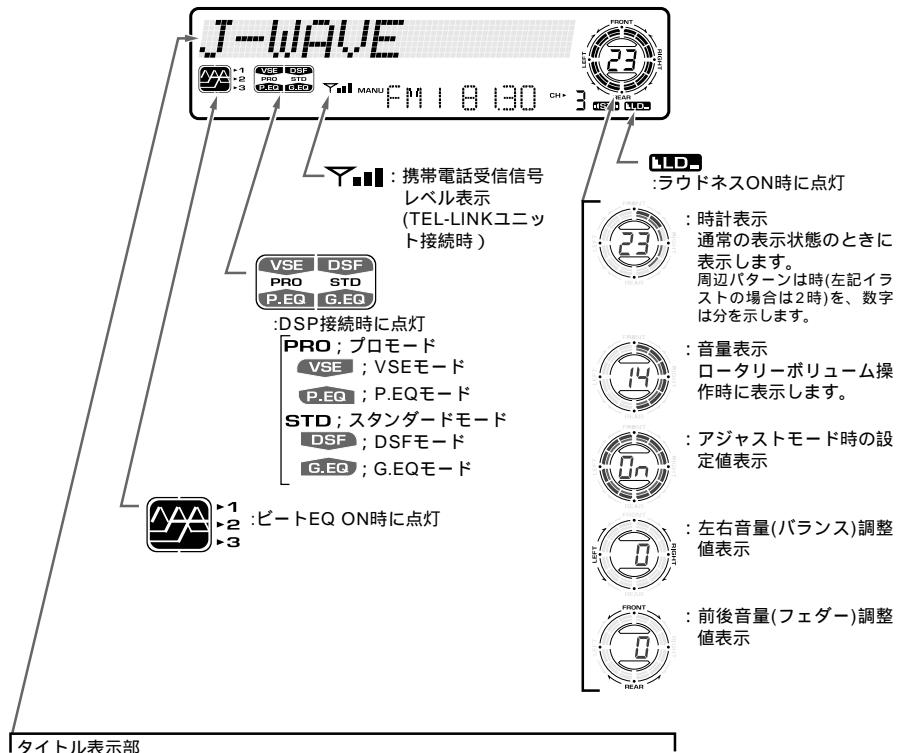


本機
の
操
作

各部の名称とはたらき

モード別ディスプレイ表示

各モード共通の表示

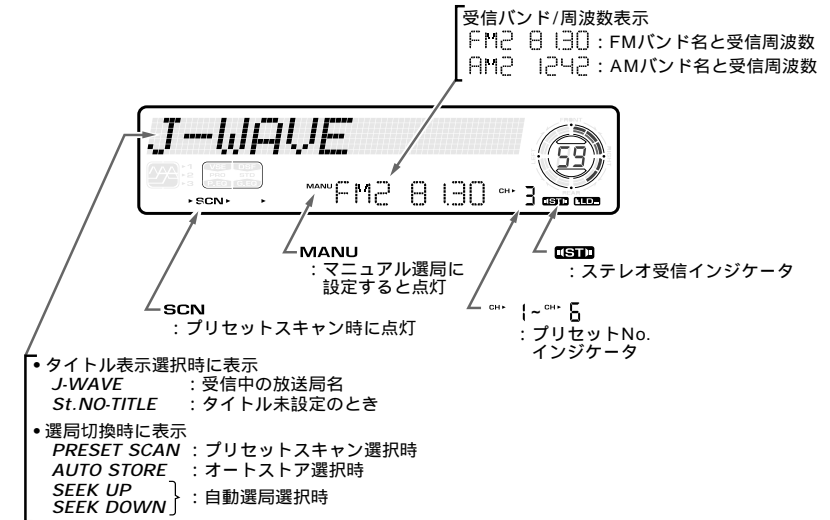


タイトル表示部

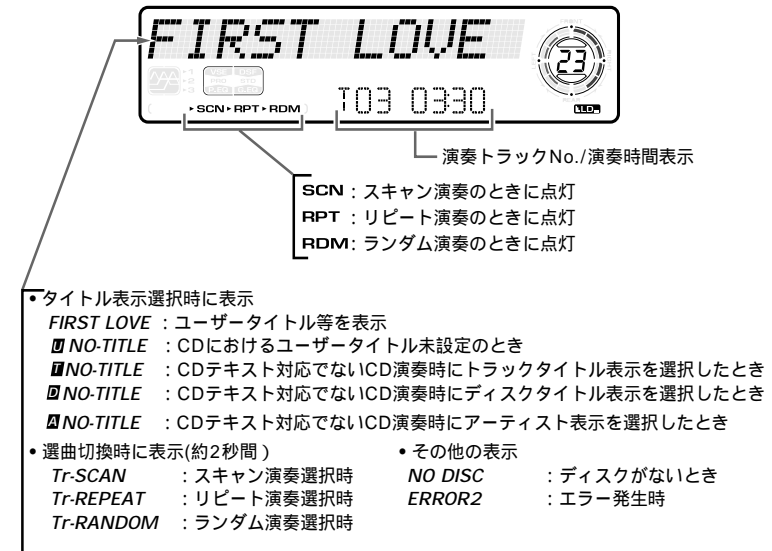
- 動作モード表示
モード切替時に1秒間表示します。
 - TUNER : ラジオモード
 - CD : CDモード
 - CD A/C-1 : CDチェンジャーモード
 - MD A/C-1 : MDチェンジャーモード
 - TV : TVモード
 - AUX : アクセサリーモード
- タイトル表示
動作モードに応じて放送局名やディスクタイトル等を表示します。
具体的表示例は次ページ以降のモード別表示をご覧ください。
 - スクリーンセーバー
スクリーンセーバー機能で設定されたパターンを表示します。
詳細は「スクリーンセーバーを設定する」(51ページ)をご覧ください。



ラジオモード時の表示



CDモード時の表示



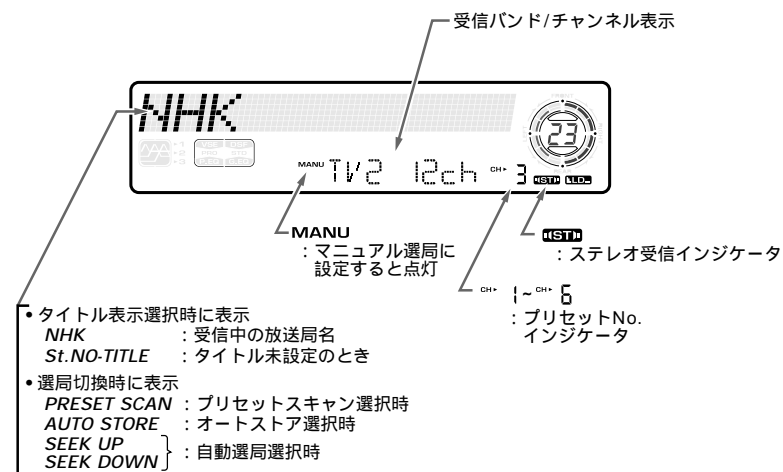
■ 各部の名称とはたらき

モード別ディスプレイ表示

CD/MDチェンジャーモード時(接続時)の表示



TVモード時(接続時)の表示



各部の名称とはたらき

リモコン(RCB-147)の使いかた

モードを選ぶ ファンクションボタン

電源が入ります。また、押すたびにモードが切り換わります。

ラジオ → CD → (MDデッキ) → (CDチェンジャー) → AUX ← (TV) ← (MDチェンジャー) ←

押し続ける(1秒間)と、電源が切れます。

音量を調節する ▲▼ ボリュウム

ジョイスティックを上 ▲ または下 ▼ に押す



選曲する/選局する ◀▶ サーチ

ジョイスティックを左 ◀ または右 ▶ に押す

押した回数だけ先の曲、または前の曲を演奏します。
押し続ける(約1秒間)と、早送り/早戻しをします。
(CDモード、CD/MDチェンジャーモード時)
プリセットチャンネルをアップ/ダウンします。
(ラジオ/TVモード時)



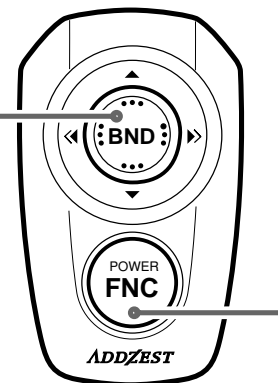
最初の曲から演奏する/バンドを切り換える バンドボタン

最初の曲から演奏します。(CDモード時)
受信バンドを切り換えます。(ラジオ/TVモード時)



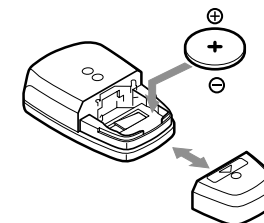
次のCD(またはMD)を演奏する バンドボタン

次のCD(またはMD)を演奏します。(CD/MDチェンジャーモード時)



電池の入れかた

- ① リモコンを裏返して、矢印の方向にカバーをスライドさせます。
- ② 付属のリチウム電池(CR2032)を ⊕ 表示を上にして入れ、カバーを開めます。



⚠ 注意

使用を誤ると、電池の破裂や液漏れにより、ケガや火災、周囲を汚染する原因となりますので、以下の注意事項をお守りください。

- ・ 指定電池以外は使用しない。
- ・ 電池を交換するときは、極性の向きを間違えないように正しく入れる。
- ・ 電池を加熱したり、火や水の中に入れてはいけません。また、分解しない。
- ・ 使用済みの電池は、定められた場所に廃棄する。

各部の名称とはたらき

別販リモコン(RCB-130)の使いかた

モードを選ぶ ファンクションボタン

電源が入ります。また、押すたびにモードが切り換わります。
ラジオ → CD → (MDデッキ) → (CDチェンジャー) → AUX → (TV) → (MDチェンジャー) → (CDチェンジャー) → 押し続ける(1秒間)と、電源が切れます。

音量を調節する ▲▼(ボリューム)ボタン

音を消す ミュートボタン

ミュート(消音)機能をON/OFFします。

ISRメモリーを呼出す ISRボタン

ISRにすぐ聴きたい放送局をメモリーするには、ISRボタンを押し続けます(約2秒間)。元のモードに戻すには、もう1度ISRボタンを押しします。

曲を探す/放送局をプリセットする スキャンボタン

スキャン演奏します。(CDモード、CD/MDチェンジャーモード時)押し続ける(約1秒間)と、チェンジャー内の全ディスクの1曲目をディスクスキャン演奏します。(CD/MDチェンジャーモード時)プリセットした放送局を確かめられます。(プリセットスキャン、ラジオ/TVモード時)また、押し続ける(約2秒間)と放送局を自動的にメモリーします。(オートストア、ラジオ/TVモード時)解除するときは、もう1度スキャンボタンを押します。

繰り返し演奏する リピートボタン

繰り返し演奏します。(CDモード、CD/MDチェンジャーモード時)押し続ける(約1秒間)と、ディスクの繰り返し演奏をします。(CD/MDチェンジャーモード時)解除するときは、もう1度リピートボタンを押します。

ランダム演奏する/TVをVTRに切り換える ランダムボタン

ランダム演奏します。(CDモード、CD/MDチェンジャーモード時)押し続ける(約1秒間)と、チェンジャー内の全ディスクをランダムに演奏します。(CD/MDチェンジャーモード時)解除するときは、もう1度ランダムボタンを押します。TVモード時にTVをVTRに切り換えます。

演奏する ▶/|| (プレイ・ポーズ)ボタン

演奏と一時停止をします。(CDモード、CD/MDチェンジャーモード時)

選曲する/選局する ◀▶サーチボタン

押した回数だけ先の曲、または前の曲を演奏します。押し続ける(約1秒間)と、早送り/早戻しをします。(CDモード、CD/MDチェンジャーモード時)プリセットチャンネルをアップ/ダウンします。(ラジオ/TVモード時)

最初の曲から演奏する/バンドを切り換える バンドボタン

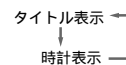
最初の曲から演奏します。(CDモード時)受信バンドを切り換えます。(ラジオ/TVモード時)

次のCD(またはMD)を演奏する バンドボタン

次のCD(またはMD)を演奏します。(CD/MDチェンジャーモード時)

表示を切り換える ディスプレイボタン

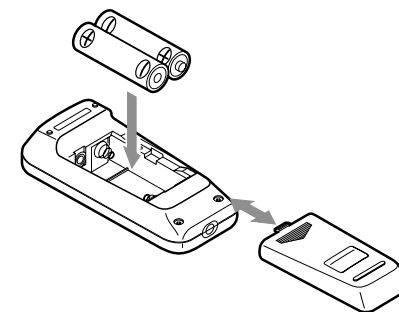
次のように表示を切り換えます。



タイトル表示中に押し続ける(約1秒間)と、タイトル表示を切り換えます。
・CDテキスト再生時は、ユーザータイトル ディスクタイトル アーティスト名 トラックタイトルを切り換えます。
・MD再生時は、ディスクタイトル トラックタイトルを切り換えます。

電池の入れかた

- ①リモコンを裏返して、矢印の方向に裏ぶたをスライドさせます。
- ②付属の電池(1.5Vの単3形乾電池2個)を図のような向きに入れて、裏ぶたを閉めます。

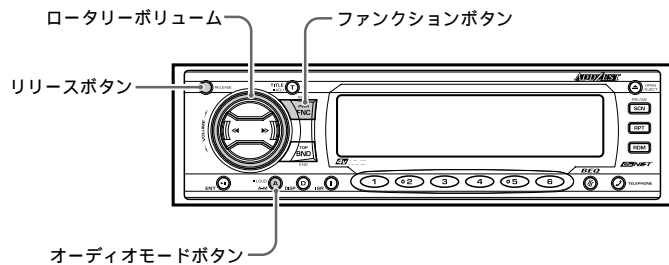


注意

- 使用を誤ると、電池の破裂や液漏れにより、ケガや火災、周囲を汚染する原因となりますので、以下の注意事項をお守りください。
- ・指定電池以外は使用しない。
 - ・電池を交換するときは、極性の向きを間違えないように正しく入れる。
 - ・電池を加熱したり、火や水の中に入れてはならない。また、分解しない。
 - ・使用済みの電池は、定められた場所に廃棄する。

本機
の
操
作

基本の操作



DCPの取り外しかた

DCPについて...

このコントロールパネルは盗難防止用に取り外すことができます。車から離れるときは、DCPをお持ちになることをおすすめします。

- 1 ファンクションボタンを押し続けて(約1秒間)、電源を切る

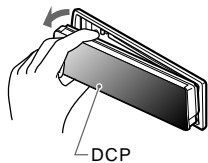


- 2 リリースボタンを深く押す



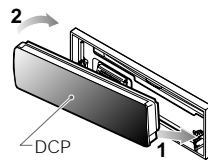
DCPの左端が本体から外れます。

- 3 DCPを手前に取り外す

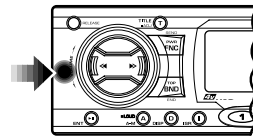


DCPの取り付けかた

- 1 DCPの右側を本機に差し込む
- 2 DCPの左側を本機に差し込む



- 3 DCPの左端中央部(イラストの矢印部)を、カチッと音がするまで押す



注意

- DCPは衝撃に弱いです。取り外した後は、落としたり強い衝撃を与えないようにご注意ください。
- ソースユニットとDCPを接続しているコネクターは大変重要な部分です。爪やドライバー等で押してキズをつけないように、注意してください。

ご注意

DCPが汚れている場合、乾いた柔らかい布で拭いてください。

電源を入れる

システムチェックついて...

本機は、結線を終えてから最初に電源を入れたときのみ接続機器の確認を行います。電源を入れるとディスプレイに「SYSTEM CHECK」が表示されますので、ファンクションボタンを押してください。本機の内部で、システムチェックが始まります。システムチェックが終わると、電源OFFの状態になりますので、もう一度ファンクションボタンを押してください。(詳しくは16ページをご覧ください。)

ファンクションボタンを押す



前回の操作終了時のモードが表示されます。
•時刻の設定は、31ページをご覧ください。

ご注意

バッテリーあがり防止のため、本機の操作は、エンジンをかけた状態で行ってください。

電源を切るときは...

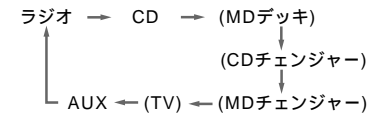
ファンクションボタンを押し続けます(約1秒間)。

モードを選ぶ

ファンクションボタンを押す



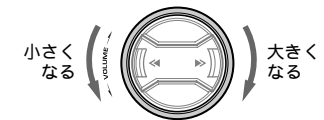
押すたびに、次のように切り換わります。



- 接続していない機器のモードは表示されません。
- ディスクが入っていないときは「NO DISC」、CDチェンジャーモード時にチェンジャーにCDやマガジンが入っていないときには、「NO MAGAZINE」が表示されます。

音量を調節する

ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回す



調整値を次のように表示します。



注意

運転中は車外の音が聞こえる程度の音量にしてください。

LOUDネスをON/OFFする

小音量でお聴きになるときは...

小音量でお聴きになるときは、低音を強調するLOUDネスの自然な音質をおすすめします。

オーディオモードボタンを押し続ける(約1秒間)



ONになると、「LOUD」が点灯してLOUDネスの効いた音になります。

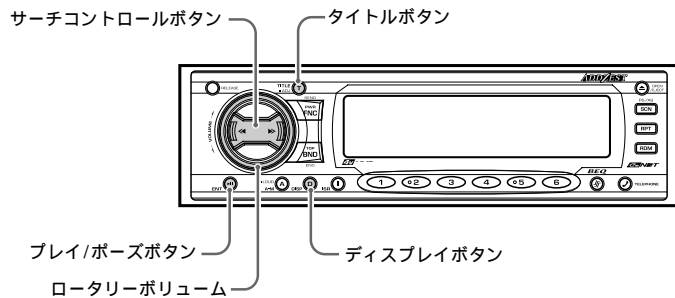
LOUDネスをOFFにするには...

もう1度押し続けます(約1秒間)。

ご注意

別販のDSP(DPH910)を使用する場合、オートLOUDネス機能に切り換わります。この機能はLOUDネス効果とは異なる機能です。オートLOUDネスについての詳細は、「オートLOUDネス機能のON/OFF(76ページ)の項をご覧ください。

■ 基本の操作

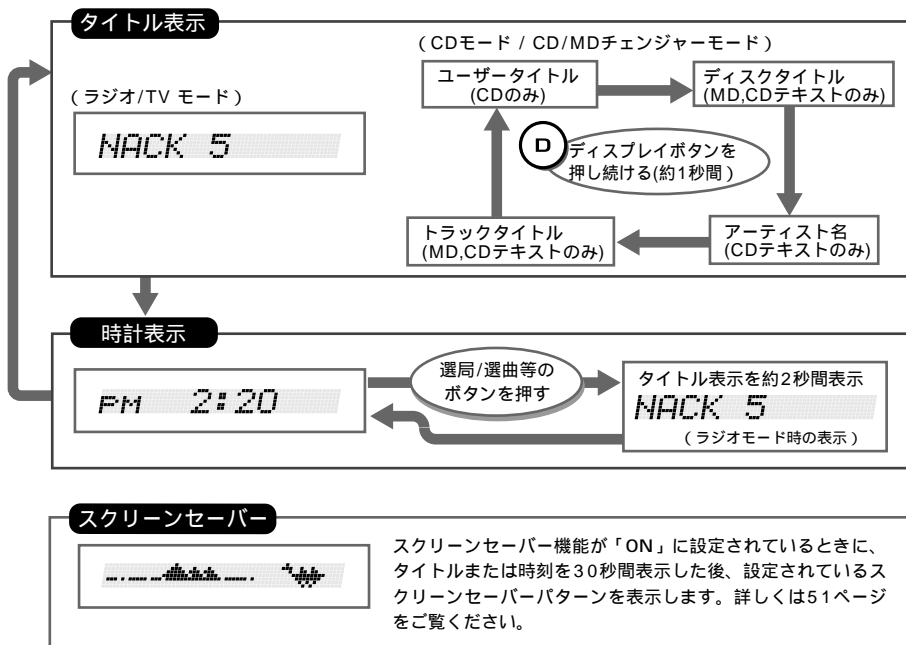


表示を切り換える

ディスプレイボタンを押して、表示を選ぶ



押すたびに、次のように切り換わります。



時刻を合わせる

時計表示について...

本機は、車のエンジン作動時(ACC ON時)に時計を表示します。

時計は12時間表示です。

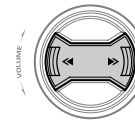
・ナビゲーション接続時は、時刻データがナビゲーションから送られてくるため、時刻の調整はできません。

1 タイトルボタンを押し続ける(約1秒間)



「NON-FADER」が表示されます。

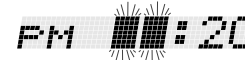
2 サーチコントロールボタンの◀◀または▶▶を押して、「CLOCK」を選ぶ



3 プレイ/ポーズボタンを押して、時計を表示させる

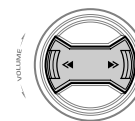


調整時点(「PM 2:20」等)の時刻を表示し、時刻設定モードになります。



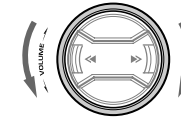
・時刻を合わせる途中で他のボタンを操作すると、時刻は調整されません。

4 サーチコントロールボタンの◀◀または▶▶を押して、時または分を選ぶ



点滅している項目が調整できます。

5 ローラーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、時刻を合わせる



6 プレイ/ポーズボタンを押して、アジャスト選択表示に戻る



「ピー」と鳴って、時刻が設定されます。

7 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



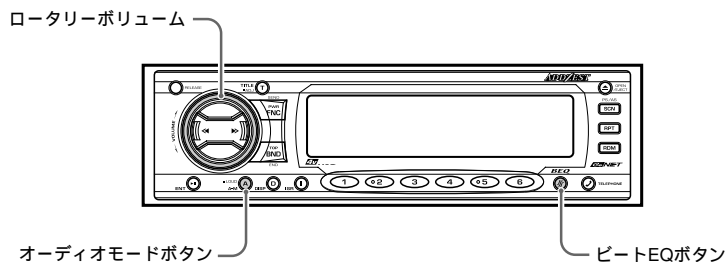
ご注意

・電源OFF状態での時間表示のときは、時計を設定することはできません。

・車のバッテリーが無くなったときや、本機を取り外したときは、時計はリセットされます。

・時間を設定しているときに、他のボタンを押して別の操作をすると、時計合わせはキャンセルされます。

■ 基本の操作



音質を簡単に設定する(ビートEQ機能)

ビートEQ機能について...

本機は、3種類の音質効果をメモリーしてあります。お好みの音質を設定してお楽しみください。

- ・ **BASS BOOST** : 低音を重視したサウンド
- ・ **IMPACT** : 低音と高音を強調したサウンド
- ・ **EXCITE** : 低音と高音を更に強調したサウンド

初期設定は「**USER CUSTOM**」です。

ご注意

- ・ ビートEQをONに設定すると、トーンバイパスの設定、バス、ミッドおよびトレブルの調整ができなくなります。
- ・ 別販のDSP(DPH910)を接続したときは「G.EQの操作」(69ページ)で調整してください。

1 ビートEQボタンを押す

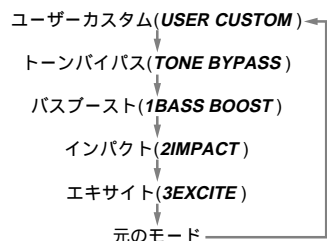


タイトル表示部に「**USER CUSTOM**」が表示されます。

2 ビートEQボタンを押して、お好みの音質を選ぶ



ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。



音質を更にきめ細かく設定するには...

「音質を調整する(バス/ミッド/トレブル)」(34ページ)の手順で、お好みの音質に調整してください。

トーンバイパスについて...

トーンバイパスは、トーン(バスやトレブル)機能を無効にする機能です。

ビートEQ量を調整する

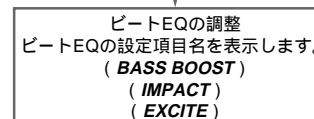
ビートEQ機能が**BASS BOOST**(バスブースト)、**IMPACT**(インパクト)あるいは**EXCITE**(エキサイト)のときに調整できます。

1 オーディオモードボタンを押して、ビートEQ調整項目(**BASS BOOST**/**IMPACT**/**EXCITE**)を選ぶ

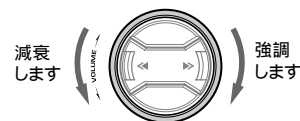


オーディオモードボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

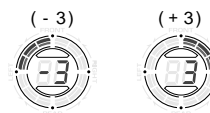
ノンフェダー出力調整(**NON-FAD VOL**)



2 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に押し、ビートEQ量を調整する



・ 調整範囲は、- 3 ~ + 3です。調整量は次のように表示されます。



3 オーディオモードボタンを数回押し、元のモードに戻す



ノンフェダー出力の音量を調整する

この機能は、ノンフェダー出力表示が「**ON**」のときに調整できます。設定のしかたは、「ノンフェダー出力調整表示のON/OFFを設定する」(49ページ)をご覧ください。
初期設定は「0」です。

1 オーディオモードボタンを押して、「NON-FAD VOL」を選ぶ



2 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して出力音量を調整する



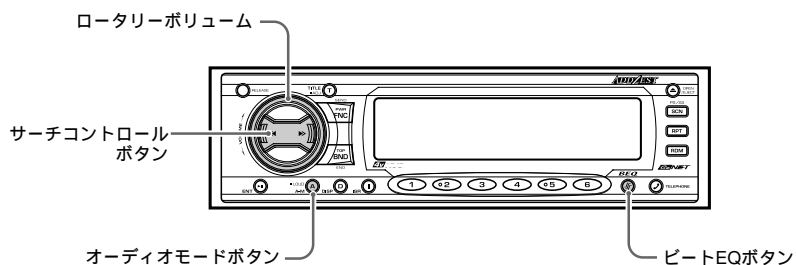
・ 設定範囲は - 6 ~ + 6です。調整量は次のように表示されます。



3 オーディオモードボタンを数回押し、元のモードに戻す



■ 基本の操作



トーンバイパスを設定する

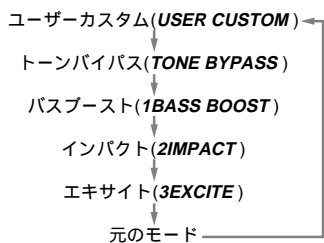
トーンバイパスについて...
トーンバイパスは、トーン(バスやトレブル)機能を無効にする機能です。

ビートEQボタンを押して、「**TONE BYPASS**」を選ぶ

BEQ



ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。



音質を調整する(バス/ミッド/トレブル)

この機能は、音質をきめ細かく設定してお聴きになりたいときにご使用ください。

ご注意

この機能は、ビートEQがユーザーカスタム (USER CUSTOM) のときに設定できます。

1 ビートEQボタンを押して、「**USER CUSTOM**」を選ぶ

BEQ



2 オーディオモードボタンを押して、調整項目(「**BASS** ◀GAIN ▶」等)を選ぶ

LOUD A-M

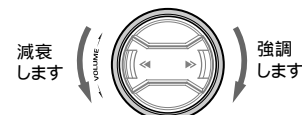


オーディオモードボタン押すたびに、次のように切り換わります。

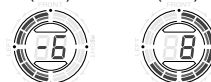


次ページに続く

3 ローターボリュームを時計方向または反時計方向に回してゲインを調整する

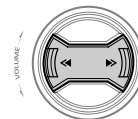


•BASS(低音域)調整範囲は、-6~+8です。調整量は次のように表示されます。

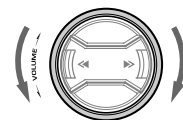


•MID(中音域)、TREB(高音域)調整範囲は、-6~+6です。

4 サーチコントロールボタンの◀または▶を押して、「◀F」(周波数)または「◀Q」(Q)を選ぶ



5 ローターボリュームを時計方向または反時計方向に回して調整する



- BASS** (低音域)
周波数(F) : 50Hz, 80Hz, 120Hz
Qカーブ(Q): 1, 1.25, 1.5, 2
- MID** (中音域)
周波数(F) : 700Hz, 1kHz, 2kHz
Qカーブ(Q): 1.5, 2
- TREB** (高音域)
周波数(F) : 8kHz, 12kHz
Qカーブ(Q): 0.8(固定)

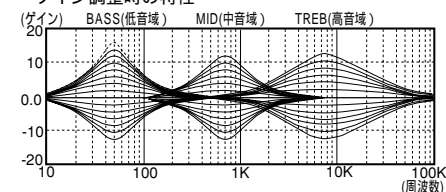
6 オーディオモードボタンを数回押し、元のモードに戻す

LOUD A-M

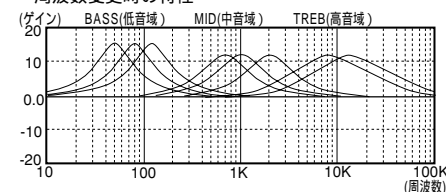


次の特性図表を参考にバス、ミッドおよびトレブルを調整し、お好みの音質に調整してください。

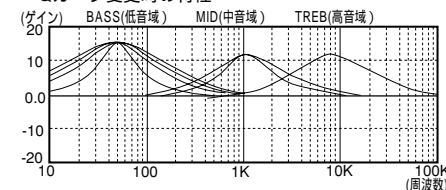
ゲイン調整時の特性



周波数変更時の特性



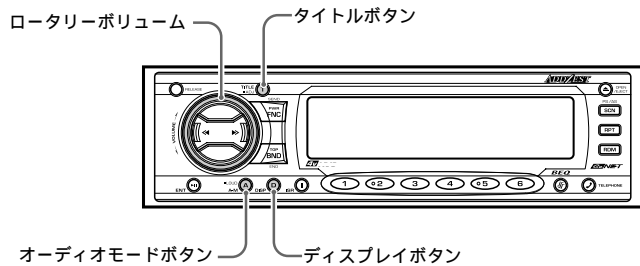
Qカーブ変更時の特性



Qカーブ(Q)は数値を大きくすると鋭く、小さく設定すると緩やかなカーブになります。

本機の操作

基本の操作



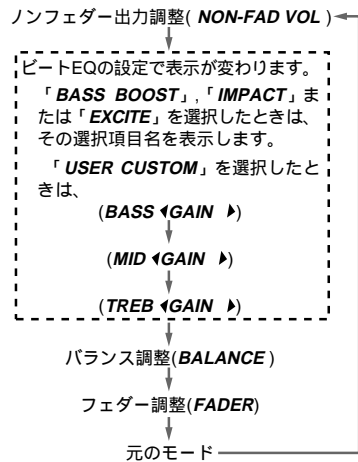
バランス/フェダーを調整する

別販のDSP(DPH910)を接続したときは、「DSFの操作」(65ページ)で調整してください。

1 オーディオモードボタンを押して、「BALANCE」または「FADER」を選ぶ

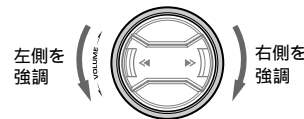


押すたびに、次のように切り換わります。

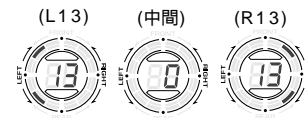


2 ローターボリュームを時計方向または反時計方向に回して調整する

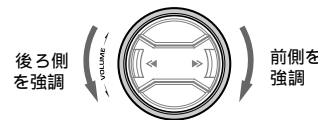
バランスの調整(左右のスピーカ音量)



調整範囲は、L13～R13です。調整量は次のように表示されます。



フェダーの調整(前後のスピーカ音量)



調整範囲は、F12～R12です。調整量は次のように表示されます。



3 オーディオモードボタンを数回押して、元のモードに戻す



タイトル表示を切り換える

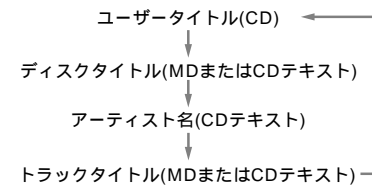
タイトル表示について...

CDモード/CDチェンジャーモードにおけるCDテキスト再生時、MDチェンジャーモードにおけるMD再生時に、ディスクにあらかじめ登録されているディスクタイトルまたは曲(トラック)タイトルをディスプレイに表示します。

タイトルが表示されているときに、ディスプレイボタンを押し続ける(約1秒間)



ディスプレイボタンを押し続けるたびに、次のように表示が切り換わります。



CDテキスト対応でないCDの場合は、
 ユーザータイトル : **NO-TITLE**
 ディスクタイトル : **NO-TITLE**
 アーティスト名 : **NO-TITLE**
 トラックタイトル : **NO-TITLE**
 と表示されます。

タイトルが入力されていないMDの場合は、
 ディスクタイトル : **NO-TITLE**
 トラックタイトル : **NO-TITLE**
 と表示されます。

タイトルをスクロールさせる

タイトルスクロールについて...

CDモード/CDチェンジャーモードにおけるCDテキスト再生時、MDチェンジャーモードにおけるMD再生時に、ディスクに登録されているタイトルがスクロールできます。スクロールの設定がONのときは、自動でスクロールし続けます。設定については「タイトルスクロール方法を設定する(AUTO SCROL)」(53ページ)をご覧ください。

スクロール方法の設定がOFFのときは、タイトルが表示されているときに、タイトルボタンを押す



タイトルが左にスクロールします。

タイトル表示例

タイトル名が **AB CD EF GH XYZ** の場合

最初の10文字表示状態

AB CD EF GH

スクロール中

CD EF GH X

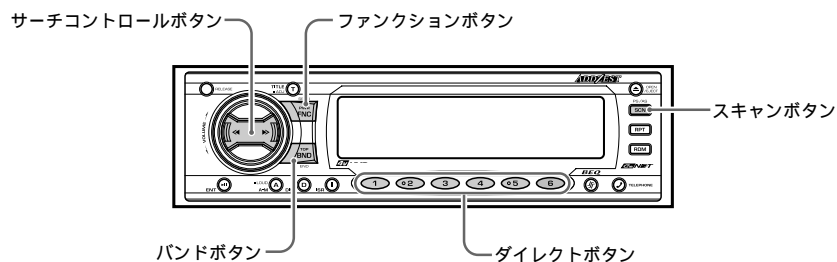
XYZ

* タイトルの末尾まで表示すると、最初の10文字表示に戻ります。

ご注意

CDモード、CDチェンジャーモードで「USER TITLE」を選択している場合は、タイトルスクロールはしません。このときタイトルボタンを押すと、タイトル入力モードになりますので、ご注意ください。

ラジオを聴く

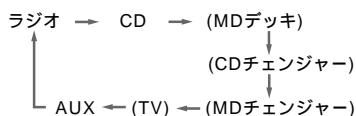


ラジオモードを選ぶ

ファンクションボタンを押して、ラジオモードを選ぶ



ファンクションボタンを押すたびに、モードが切り換わります。(接続していない機器のモードは表示しません)



ご注意

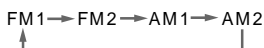
・受信地域内の放送局名を表示させたい場合は、「チューナーエリアを設定する」(54ページ)で、受信エリアを設定してください。

受信バンドを切り換える

バンドボタンを押して、受信バンドを切り換える



バンドボタンを押すたびに、次のように切り換わります



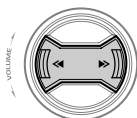
自動選局する(シーク選局)

1 「MANU」が点灯しているときは、バンドボタンを押し続ける(約1秒間)



ディスプレイの「MANU」が点灯すると、自動選局ができます。

2 サーチコントロールボタンの◀または▶を押す



放送のあるところで、自動的に選局が止まります。

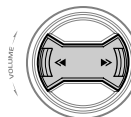
手動選局する(マニュアル選局)

1 「MANU」が消灯しているときは、バンドボタンを押し続ける(約1秒間)



ディスプレイの「MANU」が点灯すると、手動選局ができます。

2 サーチコントロールボタンの◀または▶を押して、放送のあるところに合わせる



*手動選局には、ステップ選局とクイック選局があります。

・ステップ選局のときは、サーチコントロールボタンを押すと、周波数が1ステップずつ切り換わります。

・クイック選局のときは、サーチコントロールボタンを押し続けると、周波数が連続して切り換わり、好みの周波数に合わせることができます。

プリセット選局する

プリセット選局について...

あらかじめメモリーしてある放送局を選局する機能です。

ダイレクトボタン(1~6)を押して、聴きたい放送局を選ぶ



ディスプレイに放送局名とプリセットNo.を表示します。

ご注意

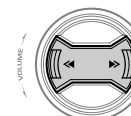
ダイレクトボタンを押し続け(約2秒間)ないでください。押し続けるとプリセットメモリーとなり、受信中の放送局をメモリーします。

プリセットメモリーする

プリセットメモリーについて...

プリセットメモリーできるのは、FM1、FM2、AM1、AM2各6局、合計で24局です。

1 サーチコントロールボタンの◀または▶を押して、メモリーしたい放送局を選ぶ



2 メモリーさせたいダイレクトボタン(1~6)を押し続ける(約2秒間)



ディスプレイに操作したボタンの番号が表示され、メモリーされると「ピー」と鳴ります。

自動メモリーする(オートストア機能)

オートストア機能について

自動受信した放送局を、自動的にプリセットメモリーします。

スキャンボタンを押し続ける(約2秒間)

PS/AS

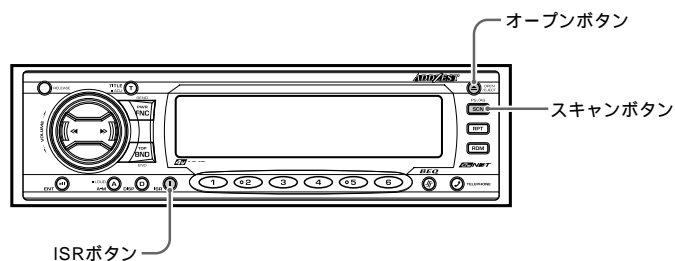


タイトル表示部に「AUTO STORE」を表示し、自動メモリー動作中のプリセットNo.を表示します。

自動的に、受信電波の強い放送局がダイレクトボタン(1~6)にメモリーされていきます。

- ・自動メモリーをすると、これまでメモリーされていた放送局は消去されます。
- ・メモリーできる放送局が6局に満たない場合は、低い周波数に戻ってからメモリーします。また、自動メモリーを2回繰り返しても6局に満たない場合は、メモリーされなかったダイレクトボタンにはそれまでのメモリー内容が残ります。
- ・すでにメモリーされている放送局を、別のダイレクトボタンにメモリーすることはありません。

ラジオを聴く



放送を確かめる(プリセットスキャン)

プリセットスキャンについて...

プリセットスキャンは、プリセットボタンにメモリーされている放送局を順に受信します。

スキャンボタンを押す

PS/AS
SCN

タイトル表示部に「PRESET SCAN」を約2秒間表示し、プリセットスキャン動作中の放送局名等を表示します。
メモリーしている放送局を、順に約7秒間ずつ受信します。また受信できない放送局はとばして、次の放送局を受信します。

ご注意

プリセットスキャンボタンを押し続けると(約2秒間)オートストア機能になります。ご注意ください。

プリセットスキャンを解除するには...

もう1度、プリセットスキャンボタンを押してください。

ボタンを押したときに受信していた放送局を受信します。

特定の放送局をすぐに選局する (ISR機能)

ISR(Instant Station Recall)機能について...

どのモードからでもすぐに特定の放送局を呼び出す機能です。交通情報など、運転中に聞きたい情報などをすばやく選局できます。(初期設定では、AM1620kHzの交通情報がメモリーされています)

ISRボタンを押す



ディスプレイに「ISR 1620」を表示します。ユーザータイトルが設定されていないときは、「St.NO-TITLE」を表示します。

ISRにメモリーされている放送局を選局します。

元のモードに戻すには...

もう1度メモリー呼出ボタンを押してください。

ISRにメモリーするには...

ラジオモードで、メモリーしたい放送局を選局し、メモリー呼出ボタンを押し続けます(約2秒間)。

ISRにメモリーされます。

CDを聴く

CDを入れる

ディスク・イン・プレイ機能について...

本機の電源が入っていない状態からでも、車のエンジンキーがONまたはACCであればディスクを入れると、自動的に電源が入り、演奏をはじめます。

注意

- ディスク挿入口に手や指を入れないでください。また、異物を入れないでください。
- セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出していたり、はがした痕があるCDは入れないでください。CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

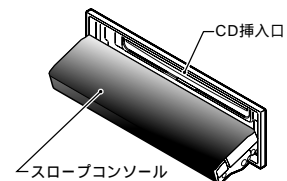
ご注意

ディスク(CD)がスムーズに挿入口に入らない場合は、他のディスクが入っているか、本機に修理が必要な場合が考えられます。

1 オープンボタンを押す

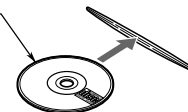


スロープコンソールが開きます。



2 挿入口にCDを入れる

印刷面を上にして入れる



CDを入れると、演奏が始まります。

- 印刷マークのないICDやCD-ROMは、本機では使用できません。
- CD-Rで記録されたCDディスクは使用できない場合があります。また、CD-RWで記録されたCDディスクは使用できません。

シングルCD(8cmCD)について...

- シングルCDはアダプターを付けずにお使いください。
- シングルCDを入れるときは、CD挿入口の中央から入れてください。

CDを取り出す

バックアップイジェクト機能について...

本機の電源が入っていない状態からでもオープンボタンを押すと、ディスクを取り出すことができます。

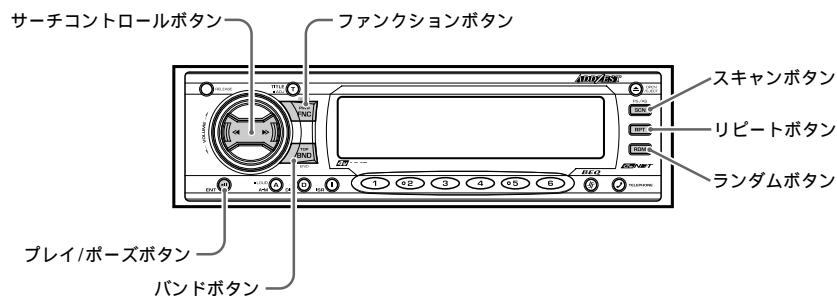
オープンボタンを押す



スロープコンソールが開いて、ディスクがイジェクトされます。

イジェクトされたディスクは、必ず取り出ししてください。

CDを聴く



すでに入っているCDを聴く

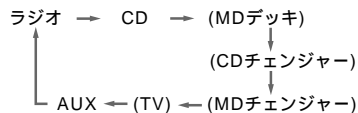
ファンクションボタンを押して、CDモードを選ぶ



CDモードになると、自動的に演奏が始まります。

ディスクが入っていないときは、ディスプレイに「NO DISC」と表示します。

- ファンクションボタンを押すたびに、モードが切り換わります。(接続していない機器のモードは表示しません)



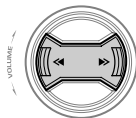
MDデッキ接続時の操作について...

本機にMDデッキを接続したときは、再生モードをMDデッキモードに切り換えることにより、CDと同様の操作でMDを聴くことができます。

曲を選ぶ

次の曲を聴くときは、サーチコントロールボタンの▶▶を押す

前の曲を聴くときは、サーチコントロールボタンの◀◀を2回押す



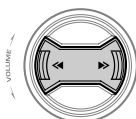
- ▶▶を押すと、次の曲が演奏されます。また押した回数だけ先の曲が演奏されます。
- ◀◀を押すと、演奏中の曲を最初から演奏します。さらに押すと、押した回数だけ前の曲が演奏されます。

- 曲の頭部分を演奏しているときにサーチコントロールボタンの◀◀を2回押すと、2曲前の曲へ戻ることがあります。

早送り/早戻しする

早送りするときは、サーチコントロールボタンの▶▶を押し続ける

早戻しするときは、サーチコントロールボタンの◀◀を押し続ける



演奏を止める(一時停止する)

プレイ/ポーズボタンを押す



タイトル表示部に「PAUSE」を表示します。

続けて演奏を聴きたいときには...

もう一度、プレイ/ポーズボタンを押してください。

1曲を繰り返し聴く(リピート演奏)

リピート演奏について...
演奏中の曲を繰り返し演奏します。

リピートボタンを押す



ディスプレイに「RPT」が点灯し、タイトル表示部に「Tr-REPEAT」を約2秒間表示して、リピート演奏をします。

リピート演奏を解除するには...

もう一度リピートボタンを押してください。

ディスプレイの「RPT」が消え、演奏している曲から通常の演奏になります。

最初の曲から聴く(トップ機能)

トップ機能について...

CDモード時に演奏しているディスクの最初の曲から演奏をはじめます。

バンドボタンを押す



最初の曲(トラックNo.1)から演奏されます。

ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏)

ランダム演奏について...

ディスクに収録されている曲を順不同に演奏します。

ランダムボタンを押す



ディスプレイに「RDM」が点灯し、タイトル表示部に「Tr-RANDOM」を約2秒間表示して、ランダム演奏をします。演奏しているCDまたはMDの曲が順不同に演奏されます。

ランダム演奏を解除するには...

もう一度ランダムボタンを押してください。

ディスプレイの「RDM」が消え、いま演奏している曲から通常の演奏になります。

聴きたい曲を探す(スキャン演奏)

スキャン演奏について...

ディスクに収録されている全曲を約10秒間ずつ演奏します。

スキャンボタンを押す

PS/AS



ディスプレイに「SCN」が点灯し、タイトル表示部に「Tr-SCAN」を約2秒間表示して、スキャン演奏をします。

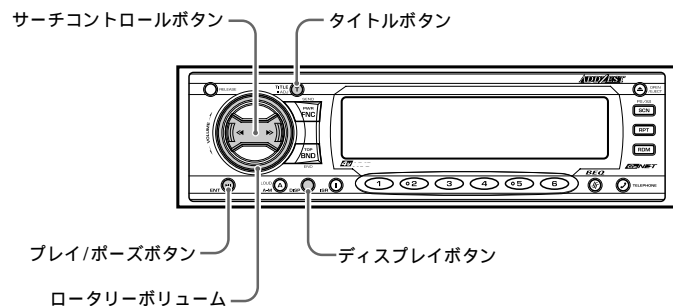
- スキャン演奏は、演奏している曲の次の曲からはじまります。

スキャン演奏を解除するには...

もう一度スキャンボタンを押してください。

ディスプレイの「SCN」が消え、いま演奏している曲が演奏されます。

タイトルをつける



タイトルを入力する

タイトル入力について...

ラジオやTVの放送局やCDに10文字までのタイトルをつけ、受信時やCD演奏時に表示させることができます。(ラジオ、TV、CD、CDチェンジャーモード時)

入力できるタイトル数は、次の通りです。

- 放送局名：30タイトル
- 本機にメモリーできるCDのディスク名：50タイトル
- CDR655x(1マガジン)にメモリーできるCDのディスク名：60タイトル
- CDR1255x(2マガジン)にメモリーできるCDのディスク名：50タイトル

1 ラジオ/TVモードの場合は、チューナーまたはTVエリアを「USER TITLE」に設定する

- 「USER TITLE」の切り換えかたは、「チューナーエリアを設定する」(54ページ)「TVエリアを設定する」(55ページ)をご覧ください。
- CDモードの場合は、ディスプレイボタンを押し続けて(約1秒間)、ユーザータイトルに切り換えてください。

2 タイトルをつけたいラジオ/TV局を受信する、またはCDを演奏する

3 ディスプレイボタンを押して、タイトル表示にする

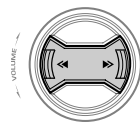


4 タイトルボタンを押す

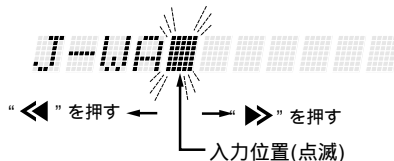


タイトル入力モードになります。

5 サーチコントロールボタンの<<または>>を押して、入力位置を決める



点滅している文字位置が左右に移動します。



• 入力できる文字数は、10文字です。

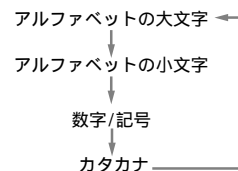
ご注意

ノイズなどの原因によって、本機のマイコンが誤動作したときなどに、リセットボタンを押すと、本機にメモリーされていたタイトルなどのユーザーメモリーは全て消去されますのでご注意ください。

6 ディスプレイボタンを押して、文字の種類を選ぶ

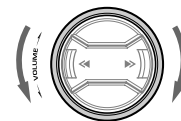


ボタンを押すと、次のように文字の種類が切り替わります。



- アルファベット大文字
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
- アルファベット小文字
a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
- 数字/記号
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
. , ' : ; ! ? * # \$ % & * + - x / = () < >
" ~ ^ _ ! @ # \$ % & * + - x / = () < >
- カタカナ
アイウエオカキクケコサシスセソタチツテト
ナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリ
ルレロワランアイウエオツヤユヨ・ー「」

7 ローターボリュームを時計方向または反時計方向に回して、入力文字を決める



8 手順5、6、7を繰り返して、タイトルを入力する

9 プレイ/ポーズボタンを押し続ける(約2秒間)



タイトル表示部に「TITLE MEMO」を表示し、タイトルがメモリーされます。

タイトル表示を時計等の表示に切り換えるには...

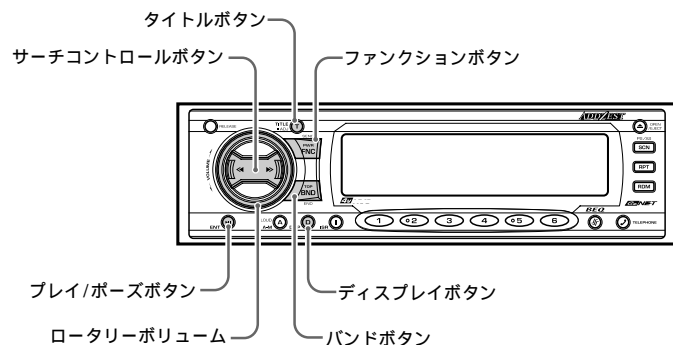
ディスプレイボタンを押してください。

タイトルメモリーがいっぱいになると...

- ラジオ局タイトルの場合
プリセットチャンネルとISRにメモリーされていないタイトルを自動的に消去して新しいタイトルをメモリーします。
- ディスクタイトルの場合
演奏回数の少ないタイトルを自動的に消去して新しいタイトルをメモリーします。

本機
の
操
作

■ タイトルをつける



イージーインプットをする

イージーインプットについて...

本機は、チューナー/TVエリアにメモリーされている周波数とタイトルのうちプリセットチャンネルにメモリーされているタイトルを「USER TITLE」にコピーすることができます。(イージーインプット機能)

ご注意

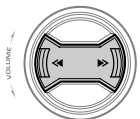
イージーインプットをすると、すでにメモリーされているチューナータイトルは全て消去されます。

- 1 ラジオまたはTVモードにしてアジャストボタンを押し続けて(約1秒間)、アジャストモードにする

TITLE
■ADJ (T)

タイトル表示部に「NON-FADER」を表示します。

- 2 サーチコントロールボタンの<<または>>を押して、「TUNER AREA」または「TV AREA」を選ぶ

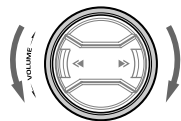


- 3 プレイ/ポーズボタンを押す

ENT (II)

設定されているエリア名を表示します。

- 4 ローターボリュームを時計方向または反時計方向に回して、コピーしたい受信エリアを選ぶ



・受信エリアについては、「チューナーエリアを設定する」(54ページ)「TVエリアを設定する」(55ページ)をご覧ください。

- 5 プレイ/ポーズボタンを押し続ける(約2秒間)

ENT (II)

ビーと鳴って、「TUNER AREA」または「TV AREA」表示に戻ります。

- 6 タイトルボタンを押して元のモードに戻る

TITLE
■ADJ (T)

イージーインプットしたタイトルを表示します。

タイトルを削除する

- 1 ファンクションボタンを押してモードを選ぶ(ラジオ、TV、CDまたはCDチェンジャー)



- 2 削除したいタイトルのラジオ/TV局を受信するまたはCDを演奏する

- 3 ディスプレイボタンを押して、タイトル表示にする

DISP (D)

- 4 タイトルボタンを押す

TITLE
■ADJ (T)

表示されているタイトルの1文字目が点滅して、タイトル入力表示になります。

- 5 バンドボタンを押す



タイトルが消えます。

- 6 プレイ/ポーズボタンを押し続ける(約2秒間)

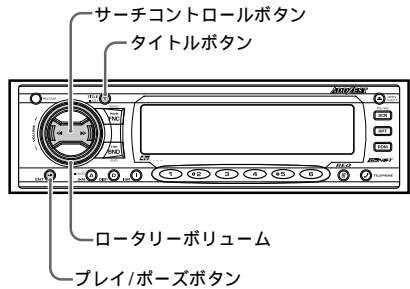
ENT (II)

タイトルが削除され、「St.NO-TITLE」(ラジオモード時)を表示します。

タイトル表示を時計等の表示に切り換えるには...

ディスプレイボタンを押してください。

設定を変更する(アジャストモード)



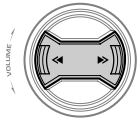
設定項目を選ぶ

1 タイトルボタンを押し続ける(約1秒間)



タイトル表示部に「NON-FADER」を表示して、アジャストモードになります。

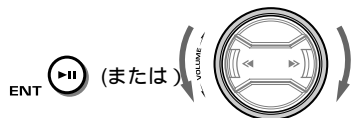
2 サーチコントロールボタンの◀または▶を押して、設定する項目を選ぶ



・サーチコントロールボタンの◀または▶を押すたびに、設定項目が右図のように切り換わります。

3 プレイ/ポーズボタンを押して、調整内容を表示させ選ぶ

または、ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して設定する



元のモードに戻すには...
設定終了後に、タイトルボタンを押しください。

- ・ノンフェーダー出力調整表示のON/OFF設定 (DSP未接続時)
NON-FADER
- ・ディスプレイ照明の設定
DIMMER LV
- ・ディスプレイのコントラスト調整
CONTRAST
- ・ボタンイルミネーションの設定
KEY ILLUMI
- ・スクリーンセーバーの設定
AUTO SS
- ・メッセージ表示の設定
MESSAGE
- ・ピープ音の設定
BEEP
- ・タイトルスクロール方法の設定
AUTO SCROLL
- ・携帯用オーディオ(AUX)の入力レベル設定
AUX SENS
- ・チューナーエリアの設定
TUNER AREA
- ・TVエリアの設定(TV接続時に表示)
TV AREA
- ・TVダイバーシティの設定(TV接続時に表示)
TV DIVER
- ・ACプロセッサの設定(DSP接続時に表示、64ページ参照)
AC-P SEL
- ・サブウーファー、オートラウドネス等の設定 (DSP接続時に表示、76ページ参照)
SOUND
- ・電話の出力スピーカーを設定 (TEL-LINK 接続時に表示、56ページ参照)
TEL-SP
- ・時刻の設定(31ページ参照)
CLOCK

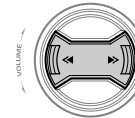
ノンフェーダー出力調整表示のON/OFFを設定する(NON-FADER)

ノンフェーダー出力表示について...
ノンフェーダー出力のレベルを調整しないときは、「NON-FAD VOL」表示を消すことができます。
・初期設定は、「ON」です。
・レベル調整表示を「OFF」に設定しても、ノンフェーダー出力から信号が出力されます。

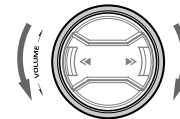
1 タイトルボタンを押し続けて(約1秒間)アジャストモードにする



2 サーチコントロールボタンの◀または▶を押して、「NON-FADER」を選ぶ



3 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、「On」(ON)または「oF」(OFF)を選ぶ



・On(ON) : オーディオモードボタンを押したときに、「NON-FAD VOL」項目が表示され、出力レベルを調整することができます。

・oF(OFF) : オーディオモードボタンを押したときに、「NON-FAD VOL」項目が表示されません。



4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



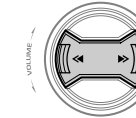
ディスプレイ照明を設定する(DIMMER LV)

ディマーについて...
車のイルミネーションに連動させて、ディスプレイの照明を減光させることができます。
・初期設定は、「3」です。

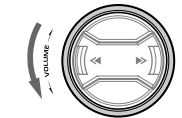
1 タイトルボタンを押し続けて(約1秒間)アジャストモードにする



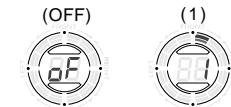
2 サーチコントロールボタンの◀または▶を押して、「DIMMER LV」を選ぶ



3 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、ディマーレベルを設定する



・ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回すたびに、「oF(OFF)」「1」~「5」と切り換わります。



4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



■ 設定を変更する(アジャストモード)

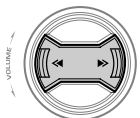
ディスプレイのコントラストを調整する(CONTRAST)

コントラスト機能について...
ディスプレイのコントラスト(色合い)を本機の取付角度に合わせて調整することができます。
・初期設定は、「8」です。

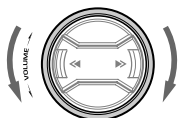
- 1 タイトルボタンを押し続けて(約1秒間)アジャストモードにする

TITLE
■ADJ (T)

- 2 サーチコントロールボタンの<<または>>を押して、「CONTRAST」を選ぶ



- 3 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、コントラストを調整する



コントラストの調整範囲は、「1」~「18」の範囲です。ディスプレイ表示の変化を見ながら設定してください。



- 4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る

TITLE
■ADJ (T)

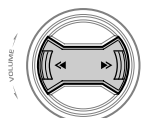
ボタンイルミネーションを設定する(KEY-ILLUMI)

・初期設定は、「GREEN(緑)」です。

- 1 タイトルボタンを押し続けて(約1秒間)アジャストモードにする

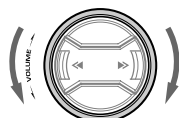
TITLE
■ADJ (T)

- 2 サーチコントロールボタンの<<または>>を押して、「KEY ILLUMI」を選ぶ



ディスプレイに「ILLM GREEN」または「ILLM RED」を表示します。

- 3 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、イルミネーションの色を選ぶ



イルミネーションの色は、緑(GREEN)と赤(RED)です

- 4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る

TITLE
■ADJ (T)

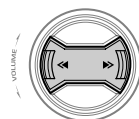
スクリーンセーバーを設定する(AUTO SS)

スクリーンセーバーについて...
4種類のパターンからお好みの表示を選ぶことができます。
・初期設定は、「SS RANDOM」です。

- 1 タイトルボタンを押し続けて(約1秒間)アジャストモードにする

TITLE
■ADJ (T)

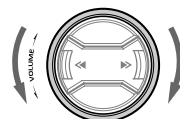
- 2 サーチコントロールボタンの<<または>>を押して、「AUTO SS」を選ぶ



- 3 プレイ/ポーズボタンを押す

ENT (II)

- 4 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、パターン名を選ぶ



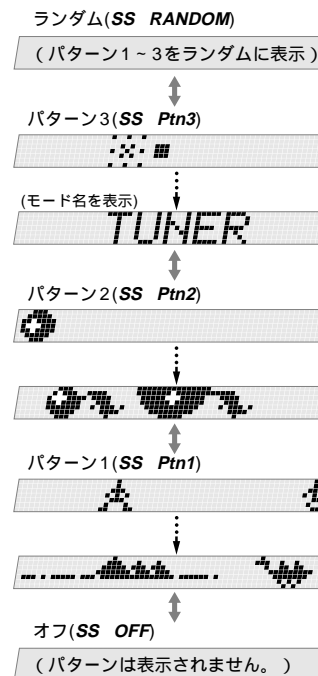
スクリーンセーバーは右図の4種類です。パターン名を選ぶと、そのパターンをデモ表示します。

- 5 プレイ/ポーズボタンを押して、設定項目表示に戻る

ENT (II)

- 6 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る

TITLE
■ADJ (T)



■ 設定を変更する(アジャストモード)

メッセージを表示させる (MESSAGE)

メッセージ表示機能について...

電源ON/OFF時に、ディスプレイにメッセージを表示します。

本機では、お好みに合わせてこれらのメッセージの表示をON/OFFすることができます。

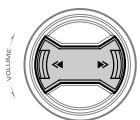
・初期設定は、「ON」です。

・設定をONにすると、電源を入れたときに「Hello!」、電源を切ったときに「Good-bye!」を表示します。

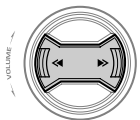
- 1 タイトルボタンを押し続けて(約1秒間)アジャストモードにする



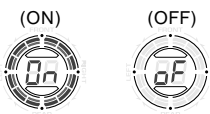
- 2 サーチコントロールボタンの◀または▶を押して、「MESSAGE」を選ぶ



- 3 ローターボリュームを時計方向または反時計方向に回して、「On」(ON)または「oF」(OFF)を選ぶ



・ON/OFFは次のように表示します。



- 4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



ボタン操作時のピープ音を設定する(BEEP)

ピープ音について...

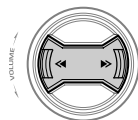
操作時になる「ビップ」という音をピープ音といいます。本機は、この音が鳴らないように設定できます。

・初期設定は、「ON」です。

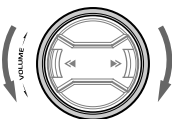
- 1 タイトルボタンを押し続けて(約1秒間)アジャストモードにする



- 2 サーチコントロールボタンの◀または▶を押して、「BEEP」を選ぶ



- 3 ローターボリュームを時計方向または反時計方向に回して、「On」(ON)または「oF」(OFF)を選ぶ



・ON/OFFは次のように表示します。



- 4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



タイトルスクロール方法を設定する(AUTO SCROLL)

タイトルスクロールについて...

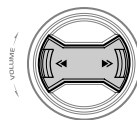
タイトルスクロールは、タイトルが表示文字数より長いときに、タイトルの末尾まで文字送りをして確認できる機能です。

・初期設定は、「ON」です。

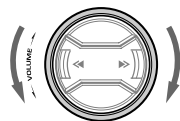
- 1 タイトルボタンを押し続けて(約1秒間)アジャストモードにする



- 2 サーチコントロールボタンの◀または▶を押して、「AUTO SCROLL」を選ぶ



- 3 ローターボリュームを時計方向または反時計方向に回して、「On」(ON)または「oF」(OFF)を選ぶ



時計方向または反時計方向に回すたびに、次のように切り換わります。

・On(ON) : 自動でスクロールを始め、スクロールを繰り返します。

・oF(OFF) : タイトルボタンを押すとスクロールします。



- 4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



携帯用オーディオ(AUXモード)の入力レベルを設定する(AUX SENS)

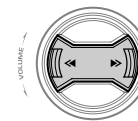
本機に接続された市販のヘッドホンステレオの入力レベルを設定します。

・初期設定は、「MID」です。

- 1 タイトルボタンを押し続けて(約1秒間)アジャストモードにする

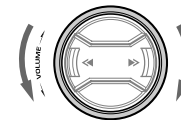


- 2 サーチコントロールボタンの◀または▶を押して、「AUX SENS」を選ぶ



「AUX SENS」を表示した後、「SENS MID」を表示します。

- 3 ローターボリュームを時計方向または反時計方向に回して、「HIGH」、「MID」または「LOW」を選ぶ



- 4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



■ 設定を変更する(アジャストモード)

チューナーエリアを設定する(TUNER AREA)

チューナーエリアについて...

チューナーエリア(ラジオを受信する地域)を選択すると、選局した周波数に対する放送局名を自動的に表示することができます。

- ・初期設定は、「コウイキ カントウ(広域 関東)」です。
- ・オリジナルの放送局名を表示する場合は、「USER TITLE(タイトル入力された放送局名)」にしてください。また、オリジナルの放送局名をつけるときは、「タイトルをつける(44ページ)」をご覧ください。

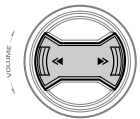
イージーインプット機能について...

チューナーエリアを選択してから、プレイ/ポーズボタンを押し続けると(約2秒間)、選択したチューナーエリアの放送局名が「USER TITLE」メモリへ登録されます。

- 1 タイトルボタンを押し続けて(約1秒間)アジャストモードにする



- 2 サーチコントロールボタンの<<または>>を押して、「TUNER AREA」を選ぶ

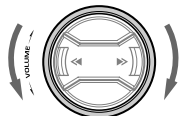


- 3 プレイ/ポーズボタンを押す



設定されているエリア名を表示します。

- 4 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、チューナーエリアを選ぶ



ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回すたびに、エリアが切り換わります。エリアは次の11種類から選ぶことができます。

表示名	エリア名
USER TITLE	タイトル入力された放送局名
サッポロ	札幌
トウホク	東北
コウイキ カントウ	広域 関東
コウイキ トウカイ	広域 東海
ホクリク	北陸
キンキ	近畿
チュウゴク	中国
シコク	四国
キュウシュウ	九州
オキナワ	沖縄

- 5 プレイ/ポーズボタンを押して、設定項目表示に戻る



- 6 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



TVエリアを設定する(TV AREA)

テレビエリアについて...

テレビエリア(テレビを受信する地域)を選択すると、選局したチャンネルに対する放送局名を自動的に表示することができます。(TVチューナー接続時)

- ・初期設定は、「カントウ(関東)」です。
- ・オリジナルの放送局名を表示する場合は、「USER TITLE」にしてください。また、オリジナルの放送局名をつけるときは、「タイトルをつける(44ページ)」をご覧ください。

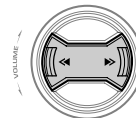
イージーインプット機能について...

テレビエリアを選択してから、プレイ/ポーズボタンを2秒以上押し続けると、選択したテレビエリアの放送局名と一致するチャンネルがプリセットメモリにされている場合、USERメモリに登録されます。

- 1 タイトルボタンを押し続けて(約1秒間)アジャストモードにする



- 2 サーチコントロールボタンの<<または>>を押して、「TV AREA」を選ぶ

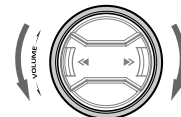


- 3 プレイ/ポーズボタンを押す



設定されているエリア名を表示します。

- 4 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、TVエリアを選ぶ



ロータリーボリュームを回すたびに、エリアが切り換わります。エリアは次の22種類から選ぶことができます。

表示名	エリア名
USER TITLE	タイトル入力された放送局名
サッポロ	札幌
トウホクA	東北A
センダイ	仙台
トウホクB	東北B
フクシマ	福島
シンエツ	信越
カントウ	関東
シズオカ	静岡
トウカイチュウブ	東海中部
ホクリク	北陸
キンキ	近畿
サンイン	山陰
オカヤマ	岡山
サンヨウ	山陽
シコクA	四国A
シコクB	四国B
キュウシュウA	九州A
キュウシュウB	九州B
キュウシュウC	九州C
カゴシマ	鹿児島
オキナワ	沖縄

- 5 プレイ/ポーズボタンを押して、設定項目表示に戻る



- 6 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



■ 設定を変更する(アジャストモード)

TVダイバーシティーを設定する(TV DIVER)

TVダイバーシティーについて...

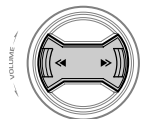
TV放送受信時に、受信状態の良いアンテナに自動的に切り換えます。(TVチューナー接続時)

・初期設定は「ON」です。TVダイバーシティーアンテナを使用していないときは「OFF」に設定し直してください。

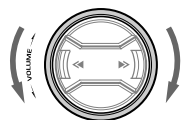
- 1 タイトルボタンを押し続けて(約1秒間)アジャストモードにする



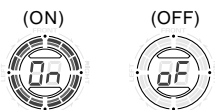
- 2 サーチコントロールボタンの◀または▶を押して、「TV DIVER」を選ぶ



- 3 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、「On」(ON)または「oF」(OFF)を選ぶ



・ON/OFFは次のように表示します。



- 4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



電話の割り込みを設定する(TEL-SP)

電話の割り込み機能について...

本機と別販のオーディオコントロール付TEL-LINKユニット(JCH540Z)を接続することにより、電話の着信時に、車内のスピーカーから着信音および通話音声を聞くことができます。

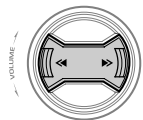
さらに、本機では通話音声を出すスピーカーを左または右に切り換えることができます。

・初期設定は「LEFT」です。

- 1 タイトルボタンを押し続けて(約1秒間)アジャストモードにする

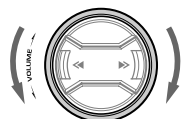


- 2 サーチコントロールボタンの◀または▶を押して、「TEL-SP」を選ぶ



「TEL-SP」を表示した後、「T-SP LEFT」または「T-SP RIGHT」を表示します。

- 3 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、「RIGHT」または「LEFT」を選ぶ



回すたびに、「T-SP LEFT」と「T-SP RIGHT」が切り換わります。

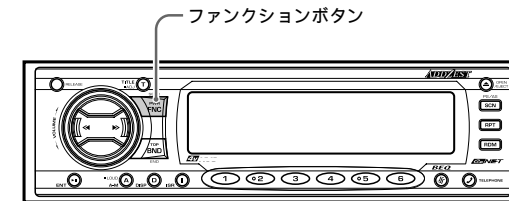
ご注意

ハウリングを防止するため、右ハンドル車の時は左スピーカー(LEFT)に、左ハンドル車の時は右スピーカー(RIGHT)に設定してください。

- 4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



CD/MDチェンジャーの操作



CDチェンジャーについて...

本機は、別販のCeNET結線対応のCDチェンジャーを接続してコントロールできます。CeNET結線対応のCDチェンジャーとMDチェンジャーを合わせて2台まで接続できます。

MDチェンジャーについて...

本機は、別販のCeNET接続対応のMDチェンジャーを接続してコントロールできます。

CD-ROMについて...

本機ではCD-ROMを操作できません。

2台のCD (またはMD) チェンジャーを接続したときは...

ファンクションボタンを押して、演奏するCD (またはMD) チェンジャーを選択してください。(ファンクションボタンを押すたびに切り換わります。)

- CDチェンジャーにマガジンが入っていないときは「NO MAGAZINE」と表示されます。また、マガジン内にCDが入っていないときには、「NO DISC」と表示されます。
- MDチェンジャーにMDが入っていないときは、「NO DISC」と表示されます。
- タイトル表示については、「タイトル表示を切り換える」(37ページ)をご覧ください。

外部機器の操作

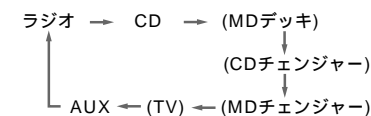
チェンジャーモードを選ぶ

ファンクションボタンを押して、CD(またはMD)チェンジャーモードを選ぶ

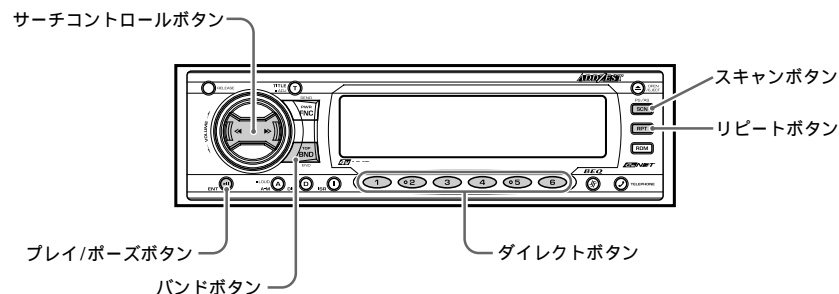


CD(またはMD)チェンジャーモードになると、ディスプレイに選択モード名を表示して、自動的に演奏がはじまります。

- ファンクションボタンを押すたびに、モードが切り換わります。(接続していない機器のモードは表示しません)



CD/MDチェンジャーの操作



聴きたいCD(またはMD)を選ぶ

ダイレクトボタン(1~6)を押す



または、バンドボタンを押す



ディスプレイのディスクNo.が点滅して、演奏をはじめます。

- MDが入っていないとき、またはマガジンにCDが入っていないときは、ダイレクトボタンを押しても受け付けません。
- 演奏中のCD(またはMD)をダイレクトボタンで選んだときは、そのCD(またはMD)の1曲目に戻って演奏します。

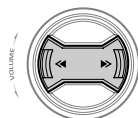
12枚CDチェンジャー接続時に、7~12のディスクを選ぶには...

ダイレクトボタン(1~6)を押し続け(約1秒間)てください。

曲を選ぶ

次の曲を聴くときは、サーチコントロールボタンの▶を押す

前の曲を聴くときは、サーチコントロールボタンの◀を2回押す



▶を押すと、次の曲が演奏されます。また押した回数だけ先の曲が演奏されます。

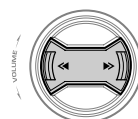
◀を1回押すと、演奏中の曲を最初から演奏します。さらに押すと、押した回数だけ前の曲が演奏されます。

- 曲の頭部分を演奏しているときにサーチコントロールボタンの◀を2回押すと、2曲前の曲へ戻ることがあります。

早送り/早戻しする

早送りするときは、サーチコントロールボタンの▶を押し続ける

早戻しするときは、サーチコントロールボタンの◀を押し続ける



演奏を止める(一時停止)

プレイ/ポーズボタンを押す



タイトル表示部に「PAUSE」を表示します。

続けて演奏を聴きたいときには...

もう1度プレイ/ポーズボタンを押してください。

最初の曲から聴く

1~6のディスクを演奏しているときは、演奏しているCD(またはMD)と同じ番号のダイレクトボタン(1~6)を押す

7~12のディスクを演奏しているときは(12枚CDチェンジャー接続時のみ)演奏しているCDと同じ番号のダイレクトボタン(1~6)を押し続ける(約1秒間)



- MDまたはマガジンにCDが入っていないディスクNo.のダイレクトボタンを押しても受け付けません。

聴きたい曲を探す(スキャン演奏)

スキャン演奏について...

チェンジャー内のCD(またはMD)の全曲を約10秒間ずつ演奏します。

スキャンボタンを押す



ディスプレイに「SCN」が点灯し、タイトル表示部に「Tr-SCAN」を表示して、スキャン演奏をします。

- スキャン演奏は、演奏している曲の次の曲からはじまります。

スキャン演奏を解除するには...

もう1度スキャンボタンを押してください。ディスプレイの「SCN」が消えて、いま演奏している曲から演奏します。

聴きたいCD(またはMD)を探す(ディスクスキャン演奏)

ディスクスキャン演奏について...

チェンジャー内の全CD(またはMD)の最初の曲を約10秒間ずつ演奏します。

スキャンボタンを押し続ける(約1秒間)



ディスプレイに「DISC」と「SCN」が点灯し、タイトル表示部に「DISC-SCAN」を約1秒間表示してディスクスキャン演奏をします。

- ディスクスキャン演奏は、演奏しているCD(またはMD)の次のCD(またはMD)からはじまります。

ディスクスキャン演奏を解除するには...

もう1度スキャンボタンを押してください。

ディスプレイの「DISC」と「SCN」が消えて、いま演奏しているCD(またはMD)から演奏します。

1曲を繰り返し聴く(リピート演奏)

リピート演奏について...

演奏中の曲を繰り返し演奏します。

リピートボタンを押す



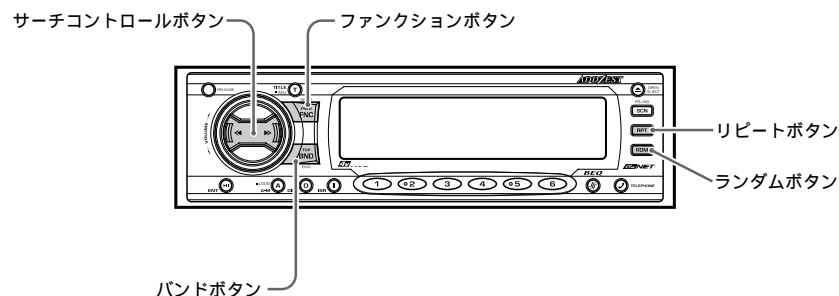
ディスプレイに「RPT」が点灯し、タイトル表示部に「Tr-REPEAT」を約1秒間表示して、リピート演奏をします。

リピート演奏を解除するには...

もう1度リピートボタンを押してください。

ディスプレイの「RPT」が消えて、通常の演奏になります。

CD/MDチェンジャーの操作



1枚のCD(またはMD)を繰り返し聴く(ディスクリピート演奏)

ディスクリピート演奏について...
演奏中のCD(またはMD)を繰り返し演奏します。

リピートボタンを押し続ける(約1秒間)

RPT

ディスプレイに「DISC」と「RPT」が点灯し、タイトル表示部に「DISC-REPEAT」を約1秒間表示して、ディスクリピート演奏をします。

ディスクリピート演奏を解除するには...

もう1度リピートボタンを押してください。

ディスプレイの「DISC」と「RPT」が消えて、通常の演奏になります。

ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏)

ランダム演奏について...

演奏中のCD(またはMD)の全曲を順不同に演奏します。

ランダムボタンを押す

RDM

ディスプレイに「RDM」が点灯し、タイトル表示部に「Tr-RANDOM」を約1秒間表示して、ランダム演奏をします。

ランダム演奏を解除するには...

もう1度ランダムボタンを押してください。

ディスプレイの「RDM」が消え、いま演奏している曲から通常の演奏になります。

全CD(またはMD)の演奏をランダムに聴く(ディスクランダム演奏)

ディスクランダム演奏について...

チェンジャー内のCD(またはMD)の曲を順不同に演奏します。

ランダムボタンを押し続ける(約1秒間)

RDM

ディスプレイに「DISC」と「RDM」が点灯し、タイトル表示部に「DISC-RANDOM」を約1秒間表示して、ディスクランダム演奏をします。

ディスクランダム演奏を解除するには...

もう1度ランダムボタンを押してください。

ディスプレイの「DISC」と「RDM」が消え、いま演奏している曲から通常の演奏になります。

テレビを見る

TVモードを選ぶ

TVチューナーコントロール機能について...

別販のCeNET結線対応のTVチューナーを接続すると、本機でTVチューナーをコントロールできます。

TVを見るためには、TVチューナーとモニターが必要です。

ご注意

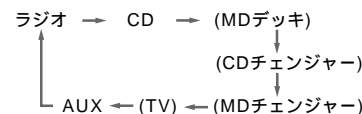
ご使用になる前に、次の項目を確認して設定を変更してください。

- TVダイバーシティアンテナを使用しないときは、「TVダイバーシティを設定する」(56ページ)で、設定を「OFF」にしてください。
- 受信地域内の放送局を表示させたいときは、「TVエリアを設定する」(55ページ)で受信エリアを設定してください。

1 ファンクションボタンを押して、TVモードを選ぶ



- ファンクションボタンを押すたびに、モードが切り換わります。(接続していない機器のモードは表示しません)

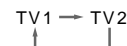


受信バンドを切り換える

バンドボタンを押してTV1またはTV2を選ぶ



- バンドボタンを押すたびに、バンドが切り換わります。



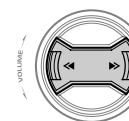
自動選局する(シーク選局)

1 「MANU」が点灯しているときは、バンドボタンを押し続ける(約1秒間)



ディスプレイの「MANU」が消灯すると、自動選局ができます。

2 サーチコントロールボタンの<<または>>を押す



放送のあるところで、自動的に選局が止まります。

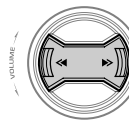
手動選局する(マニュアル選局)

1 「MANU」が消灯しているときは、バンドボタンを押し続ける(約1秒間)



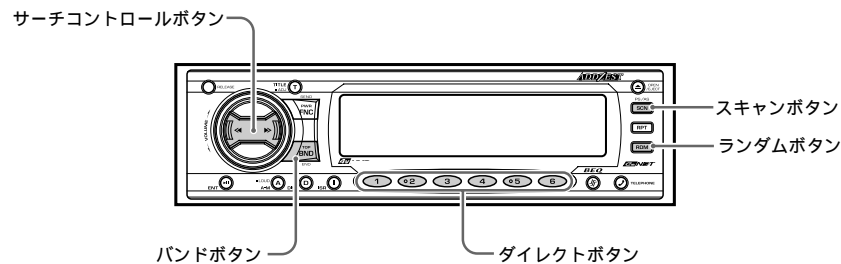
ディスプレイの「MANU」が点灯すると、手動選局ができます。

2 サーチコントロールボタンの<<または>>を押して、放送のあるところに合わせる



外部機器の操作

■ テレビを見る



プリセット選局する

プリセット選局について...

あらかじめメモリーしてあるチャンネルを選局する機能です。

メモリーするときは、「プリセットメモリーする」(次項)をご覧ください。

ダイレクトボタン(1~6)を押して、聴きたい放送局を選ぶ



ディスプレイに操作したボタンの番号を表示します。

プリセットメモリーする

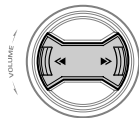
プリセットメモリーについて...

プリセットメモリーできるのは、TV1、TV2 各6局、合計で12局です。

1 バンドボタンを押して、メモリーしたいバンド(TV1またはTV2)を選ぶ



2 サーチコントロールボタンの<<または>>を押して、メモリーしたい放送局を選ぶ



3 メモリーさせたいダイレクトボタン(1~6)を押し続ける(約2秒間)



ディスプレイに操作したボタンの番号を表示し、メモリーされると「ピー」と鳴ります。

自動メモリーする(オートストア機能)

オートストア機能について...

自動受信した放送局を、自動的にプリセットメモリーします。

スキャンボタンを押し続ける(約2秒間)



タイトル表示部に「**AUTO STORE**」を約2秒間表示し、自動メモリー動作中のプリセットNo.インジケータが点灯します。

自動的に、受信電波の強い放送局がダイレクトボタン(1~6)にメモリーされていきます。

・自動メモリーをすると、これまでメモリーされていた放送局は消去されます。

・メモリーできる放送局が6局に満たない場合は、低い周波数に戻ってからメモリーします。また、自動メモリーを2回繰り返しても6局に満たない場合は、メモリーされなかったダイレクトボタンにはそれまでのメモリー内容が残ります。

・すでにメモリーされている放送局を、別のダイレクトボタンにメモリーすることはありません。

放送を確かめる(プリセットスキャン)

プリセットスキャンについて...

プリセットスキャンは、プリセットボタンにメモリーされている放送局を順に受信します。

スキャンボタンを押す



タイトル表示部に「**PRESET SCAN**」を約2秒間表示し、プリセットスキャン動作中のプリセット番号が点灯します。

メモリーしている放送局を、順に約7秒間ずつ受信します。また受信できない放送局とはばして、次の放送局を受信します。

ご注意

プリセットスキャンボタンを押し続けると(約2秒間)オートストア機能になります。ご注意ください。

プリセットスキャンを解除するには...

もう一度プリセットスキャンボタンを押してください。

ボタンを押したときに受信していた放送局を受信します。

外部機器の操作

ビデオを見る

この機能は、TVチューナーにビデオ機器が接続されているときに操作できます。

TVモード時にランダムボタンを押す

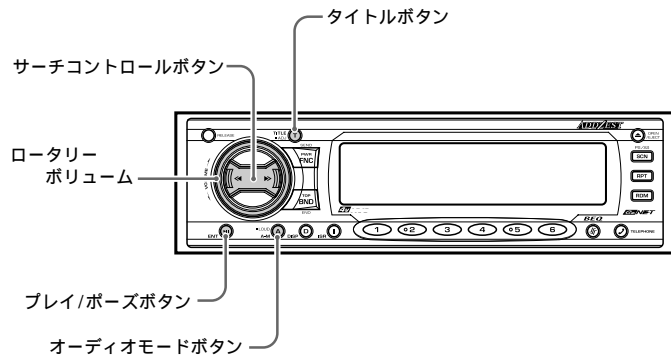


TVモードからVTRモードに切り換わり、本機のディスプレイに「**VTR**」を表示します。TV画面がビデオ入力状態となり、ビデオを見ることができます。

TVモードに戻すには...

もう一度ランダムボタンを押してください。

ACプロセッサのモードを切り換える



モード選択について...

DSP(DPH910)接続時は、スタンダードモード STD またはプロモード PRO を選択してユーザーのレベルに合わせた音の調整、補正を行うことができます。

スタンダードモード<STD>

DSFおよびG.EQによって音質、音場が調整できます。

プロモード<PRO>

VSEおよびP.EQによって音質、音場が調整できます。

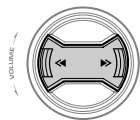
・初期設定は「STD」です。

1 タイトルボタンを押し続ける(約1秒間)

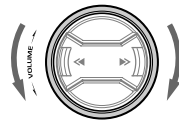


ディスプレイに「DIMMER LV」を表示します。

2 サーチコントロールボタンの<<または>>を押して、「AC-P SEL」を選ぶ



3 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、「STD」または「PRO」に設定する



4 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



ご注意

スタンダードモード<STD>で行った調整は、プロモード<PRO>時には反映されません。また、プロモード<PRO>で行った調整は、スタンダードモード<STD>時には、反映されません。

DSFの操作(スタンダードモード)

DSF(デジタル・サウンド・フィールド)について...

DSP(DPH910)接続時は、ACプロセッサのモード設定をスタンダードモード STD にしてください。モード設定については、前ページをご覧ください。

リスニングポジションを設定する

・初期設定は「FULL SEAT」です。

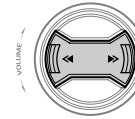
1 オーディオモードボタンを2回押して、DSFモードを選ぶ



DSFモード画面を表示します。



2 サーチコントロールボタンの<<または>>を押して、リスニングポジションを選ぶ



押すたびに、リスニングポジションが切り換わります。

・全座席(FULL SEAT) ・前右座(FRONT-R)



・設定なし(PASS)



・前左座(FRONT-L)



・後座席(REAR)



・前座席(FRONT)



リスニングポジションを調整する

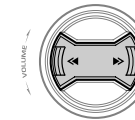
1 リスニングポジションを設定した後、プレイ/ポーズボタンを押す



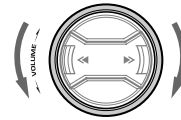
タイトル表示部に「FULL DETAIL」等を表示した後、次のように表示します。



2 サーチコントロールボタンの<<または>>を押して、「BALANCE」または「FADER」を選ぶ



3 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、バランスまたはフェーダーを調整する



調整値は以下のように表示します。

・バランス調整時



・フェーダー調整時



4 プレイ/ポーズボタンを押して、DSFモードに戻る

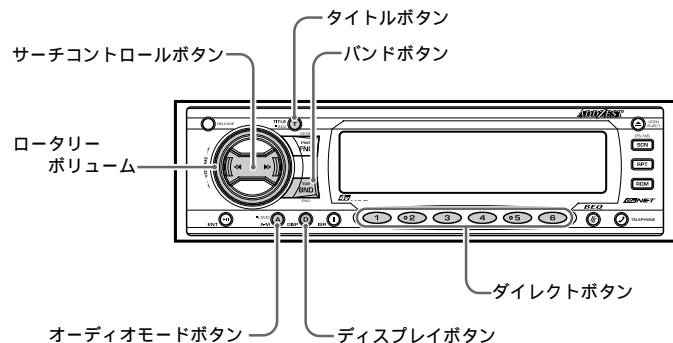


5 オーディオモードボタンを2回押して、元のモードに戻る



外部機器の操作

DSFの操作(スタンダードモード)



DSFメニューを選ぶ

- 1 オーディオモードボタンを2回押して、DSFモードを選ぶ



- 2 バンドボタンを押して、「BSC1」または「BSC2」を選ぶ



タイトル表示部にベーシックメニュー1の「HALL」またはベーシックメニュー2の「DOME」が表示されます。

・DSP(DPH910)接続時は、「DSF BSC1」(DSFベーシック1)、「DSF BSC2」(DSFベーシック2)、「DSF USR」(DSFユーザー)に切り換わります。

- 3 ディレクトボタンを押して、DSFメニューを選ぶ



・ユーザーメモリーを選択するときは、バンドボタンを押して「DSF USR」を選んでから、ディレクトボタンを押してください。

DPH910使用時のDSFベーシックメニューについて

<DSFベーシックメニュー-1>

ボタン	機能名	内容
1	HALL(ホール)	広いホールのような音場
2	CHURCH(チャーチ)	天井が高い大聖堂のような音場
3	STADIUM(スタジアム)	広く、天井や壁のない球場のような音場
4	LIVE HOUSE(ライブハウス)	ジャズクラブより大きめのライブ感覚の音場
5	CLUB(クラブ)	低音が強調されたクラブのような音場
6	JAZZ CLUB(ジャズクラブ)	天井が低いジャズクラブのような音場

<DSFベーシックメニュー-2>

ボタン	機能名	内容
1	DOME(ドーム)	屋内競技場のような音場
2	CHAMBER(チャンバー)	天井が高い大聖堂のような音場
3	PARK(パーク)	広々とした屋外のような音場
4	THEATER(シアター)	映画館や劇場の音場
5	STUDIO(スタジオ)	リスニングルームのような音場
6	BGM	ヴォーカルをカット

- 4 オーディオモードボタンを2回押して、元のモードに戻る



DSF効果をON/OFFする

ディスプレイのDSFインジケータ(■DSF)が点灯しているときは、DSF効果が「ON」に設定されています。

・初期設定は「ON」です。

・DSF効果を「OFF」に設定すると、「DSFの操作」で行った調整は、音楽ソースに反映されません。

- 1 オーディオモードボタンを2回押して、DSFモードを選ぶ



- 2 ディスプレイボタンを押して、ONまたはOFFに切り換える



ディスプレイの「■DSF」が点灯(ON)または消灯(OFF)に切り換わります。

- 3 オーディオモードボタンを2回押して、元のモードに戻る



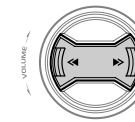
DSFを調整/メモリーする(ユーザーメモリー)

- 1 DSFメニューを選ぶ手順(1~3)で、調整のベースにするDSFメニューを選ぶ

- 2 タイトルボタンを押し続ける(約1秒間)



- 3 サーチコントロールボタンの◀または▶を押して、調整項目を選ぶ



DSF(DPH910)のDSF使用時に選べる項目

EFFECT	0 ~ 100%
DELAY	0 ~ 100ms
REAR MIX	0 ~ 100%
REV. TIME	0.3 ~ 10s
HIGH	0.1 ~ 1.0
ROOM SIZE	0.1 ~ 4.0
LIVENESS	0 ~ 10

DSFメニューのBGMはEFFECTのみ調整できます。

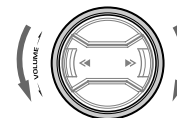
REV. TIMEおよびHIGHの調整項目について
次のDSFメニューを調整のベースとしたときに選択できます。

・HALL ・DOME
・CHURCH ・CHAMBER

ROOM SIZEおよびLIVENESSの調整項目について
次のDSFメニューを調整のベースとしたときに選択できます。

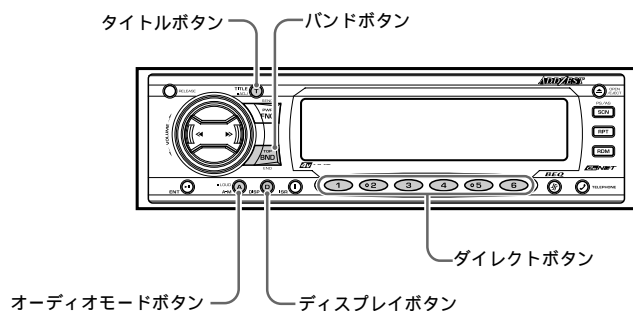
・STADIUM ・PARK
・LIVE HOUSE ・THEATER
・CLUB ・STUDIO
・JAZZ CLUB

- 4 ローターリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、調整する



次ページに続く▶▶▶

DSFの操作(スタンダードモード)



5 手順3～4を繰り返して調整し終わったら、タイトルボタンを押す

TITLE (T)
■ADJ

6 調整内容をメモリーするとき、ダイレクトボタンを押し続ける(約2秒間)



タイトル表示部に「DSF USER」を表示して、ユーザーメニューにメモリーされます。

・ユーザーメモリーには、タイトルをつけることができます。タイトル入力方法は、「ユーザーメニューにタイトルをつける」(75ページ)をご覧ください。

7 オーディオモードボタンを2回押して、元のモードに戻る

■LOUD (A)
A-M

G.EQの操作(スタンダードモード)

G.EQメニューを選ぶ

G.EQ (グラフィックイコライザー) について...

DSP(DPH910)接続時は、ACプロセッサのモード設定をスタンダードモード STD にしてください。モード設定については、64ページをご覧ください。

1 オーディオモードボタンを3回押して、G.EQモードを選ぶ

■LOUD (A)
A-M

G.EQモード画面を表示します。



2 バンドボタンを押して、ベーシックを選ぶ



バンドボタンを押すたびに、「BASC」(ベーシック)または「USR」(ユーザー)に切り換わります。

3 ダイレクトボタンを押して、G.EQメニューを選ぶ



G.EQベーシックメニュー

ボタン	機能名	内容
①	BASS BOOST (バスブースト)	重低音増強
②	HIGH BOOST (ハイブースト)	中高音域増強
③	ACOUSTICAL (アコースティカル)	中音域(人の声)増強
④	IMPACT (インパクト)	低音域と高音域を増強
⑤	SMOOTH (スムーズ)	しっとりとした感じ
⑥	FLAT(フラット)	原音、フラットイコライジング

・ユーザーメモリーを選ぶときは、バンドボタンを押して「USR」を選ぶ。

ご注意

スタンダードモードで行った調整は、プロモード時には反映されません。また、プロモードで行った調整は、スタンダードモード時には反映されません。

4 オーディオモードボタンを押して、元のモードに戻る

■LOUD (A)
A-M

G.EQ効果をON/OFFする

ディスプレイのG.EQインジケータ(G.EQ)が点灯しているときは、G.EQ効果がONに設定されています。

・初期設定は「ON」です。

・G.EQ効果を「OFF」に設定すると、「G.EQの操作」で行った調整は、音楽ソースに反映されません。

1 オーディオモードボタンを3回押して、G.EQモードを選ぶ

■LOUD (A)
A-M

2 ディスプレイボタンを押して、ONまたはOFFを切り換える

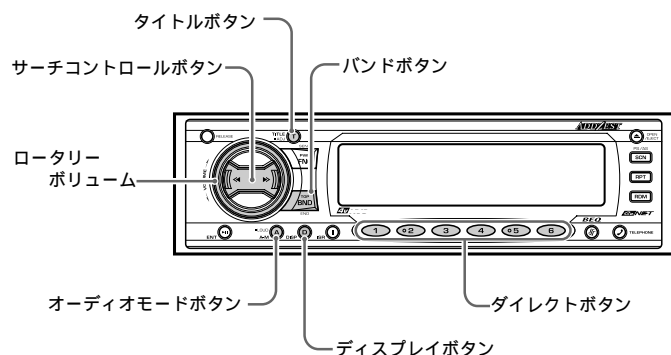
DISP (D)

ディスプレイの「G.EQ」が点灯(ON)または消灯(OFF)に切り換わります。

3 オーディオモードボタンを押して、元のモードに戻る

■LOUD (A)
A-M

■ G.EQの操作(スタンダードモード)



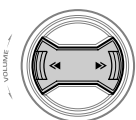
G.EQを調整/メモリーする(ユーザーメモリー)

1 G.EQメニューを選ぶ手順(1~3)で、編集のベースとなるG.EQメニューを選ぶ

2 タイトルボタンを押し続ける(約1秒間)

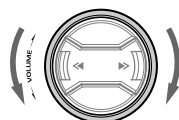


3 サーチコントロールボタンの◀または▶を押して、調整する周波数を選ぶ



- 調整周波数は、50Hz、100Hz、200Hz、400Hz、1kHz、3kHz、12kHzです。
- 各調整項目の詳細は、DPH910zの取扱説明書をご覧ください。

4 ローターリボリュームを時計方向または反時計方向に回して調整する



- 調整範囲は、-6~+6です。
- レベルを上げすぎると、音がひずむ場合があります。

5 手順3~4を繰り返して、各周波数を調整し終わったら、タイトルボタンを押す



6 メモリーするときには、ダイレクトボタンを押し続ける(約2秒間)



ユーザーメニューにメモリーされます。

- ユーザーメモリーには、タイトルをつけることができます。タイトル入力方法は、「ユーザーメニューにタイトルをつける」(75ページ)をご覧ください。

7 オーディオモードボタンを押して、元のモードに戻る



■ VSEの操作(プロモード)

VSEメニューを選ぶ

VSE(バーチャル・スペース・エンハンサー)について...

DSP(DPH910)接続時のみ操作できます。また接続時は、ACプロセッサのモード設定をPROモードにしてください。モード設定については、「ACプロセッサのモードを切り換える」(64ページ)をご覧ください。

1 オーディオモードボタンを2回押しして、VSEモードを選ぶ



VSEモード画面を表示します。



2 バンドボタンを押して、ベーシックを選ぶ



「BASC」(ベーシック)または「USR」(ユーザー)に切り換わります。

3 ダイレクトボタンを押して、VSEメニューを選ぶ



<VSEベーシックメニュー>

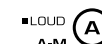
ボタン	機能名	内容
①	FLAT(フラット)	原音、フラットイコライジング
②	BASS BOOST(バスブースト)	重低音増強
③	HIGH BOOST(ハイブースト)	中高音域増強
④	IMPACT(インパクト)	低音域と高音域を増強
⑤	ACOUSTICAL(アコースティカル)	中音域(人の声)増強
⑥	SMOOTH(スムーズ)	しっとり落ち着いた感じ

- ユーザーメモリーを選ぶときは、バンドボタンを押して「USR」(ユーザー)を選ぶ。

ご注意

プロモードで行った調整は、スタンダードモード時には反映されません。また、スタンダードモードで行った調整は、プロモード時には反映されません。

4 オーディオモードボタンを2回押しして、元のモードに戻る

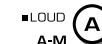


VSE効果をON/OFFする

ディスプレイのVSEインジケータ(VSE)が点灯しているときは、VSE効果が「ON」に設定されています。

- 初期設定は「ON」です。
- VSE効果を「OFF」に設定すると、「VSEの操作」で行った調整は、音楽ソースに反映されません。

1 オーディオモードボタンを2回押しして、VSEモードを選ぶ

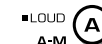


2 ディスプレイボタンを押して、ONまたはOFFを切り換える

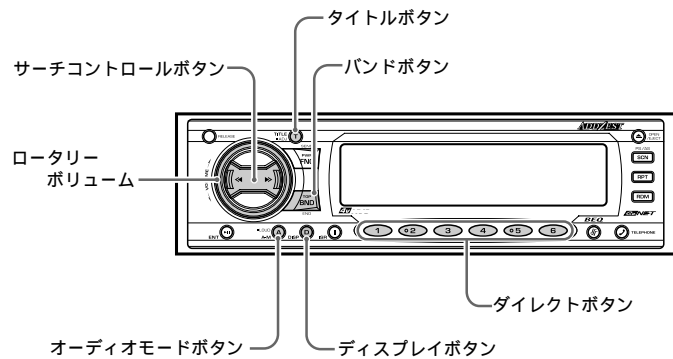


ディスプレイの「VSE」が点灯(ON)または消灯(OFF)に切り換わります。

3 オーディオモードボタンを2回押しして、元のモードに戻る



VSEの操作(プロモード)



VSEを調整/メモリーする(ユーザーメモリー)

1 VSEメニューを選ぶ手順(1~3)で、調整のベースにするVSEメニューを選ぶ

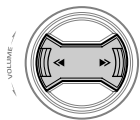
2 タイトルボタンを押し続ける(約1秒間)

TITLE (T)
■ADJ

VSE調整画面を表示します。



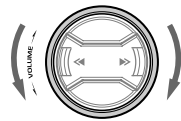
3 サーチコントロールボタンの◀または▶を押して、調整項目を選ぶ



- 調整内容
DIFFUSE : 広がり感の補正ズレを調整します。
- CAR WIDTH** : 車内の幅に対する補正ズレを調整します。
- CAR LENG** : 車内の長さに対する補正ズレを調整します。

調整範囲は、1~10です。

4 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、調整する



5 手順3~4を繰り返して調整し終わったら、タイトルボタンを押す

TITLE (T)
■ADJ

6 調整内容をメモリーするときは、ダイレクトボタンを押し続ける(約2秒間)



ユーザーメニューにメモリーされます。

- ユーザーメモリーには、タイトルをつけることができます。タイトル入力方法は、「ユーザーメニューにタイトルをつける」(75ページ)をご覧ください。

7 オーディオモードボタンを2回押して、元のモードに戻る

LOUD (A)
A-M

P.EQの操作(プロモード)

P.EQメニューを選ぶ

P.EQ (パラメトリックイコライザー) について...

DSP(DPH910)接続時のみ操作できます。また、接続時は、ACプロセッサーのモード設定をPROモードにしてください。モード設定については、「ACプロセッサーのモードを切り換える」(64ページ)をご覧ください。

1 オーディオモードボタンを3回押して、P.EQモードを選ぶ

LOUD (A)
A-M

P.EQ画面を表示します。



2 バンドボタンを押して、ベーシックを選ぶ



「BASC」(ベーシック)または「USR」(ユーザー)に切り換わります。

3 ダイレクトボタンを押して、P.EQメニューを選ぶ



<P.EQベーシックメニュー>

ボタン	VSE名	設定車種
1	SEDAN-1	大型セダン
2	SEDAN-2	小型セダン
3	WAGON-1	大型ワゴン
4	WAGON-2	小型ワゴン
5	MINI VAN-1	大型ミニバン
6	MINI VAN-2	小型ミニバン

ユーザーメモリーを選ぶときは、バンドボタンを押して「USR」(ユーザー)を選ぶ。

ご注意

プロモードで行った調整は、スタンダードモード時には反映されません。また、スタンダードモードで行った調整は、プロモード時には反映されません。

7 オーディオモードボタンを押して、元のモードに戻る

LOUD (A)
A-M

P.EQ効果をON/OFFする

ディスプレイのP.EQインジケータ(P.EQ)が点灯しているときは、P.EQ効果が「ON」に設定されています。

- 初期設定は「ON」です。
- P.EQ効果を「OFF」に設定すると、「P.EQの操作」で行った調整は、音楽ソースに反映されません。

1 オーディオモードボタンを3回押して、P.EQモードを選ぶ

LOUD (A)
A-M

2 ディスプレイボタンを押して、ONまたはOFFを切り換える

DISP (D)

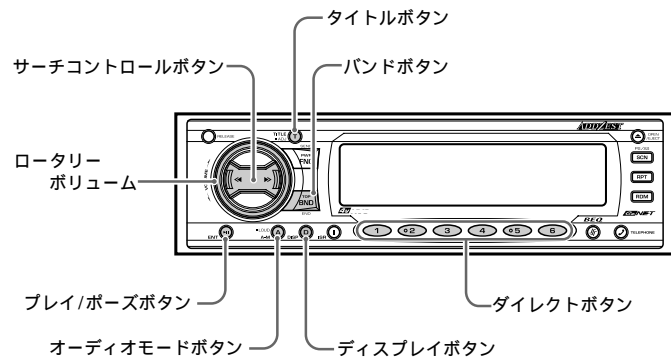
ディスプレイの「P.EQ」が点灯(ON)または消灯(OFF)に切り換わります。

3 オーディオモードボタンを押して、元のモードに戻る

LOUD (A)
A-M

外部機器の操作

■ P.EQの操作(プロモード)



P.EQを調整/メモリーする(ユーザーメモリー)

1 P.EQメニューを選ぶ手順(1~3)で、調整のベースにするP.EQメニューを選ぶ

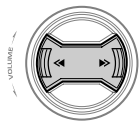
2 タイトルボタンを押し続ける(約1秒間)

TITLE (T)
■ADJ

P.EQ調整画面を表示します。



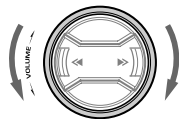
3 サーチコントロールボタンの◀◀または▶▶を押して、調整項目を選ぶ



・調整項目

- ・F/R : FRONT/REAR
- ・BAND(バンド) : 1~3
- ・FREQ(周波数) : 20Hz~20kHz
- ・GAIN(ゲイン) : -12dB ~ +12dB
- ・Q(Qカーブ) : 1/3/5/7/20

4 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、調整する



5 手順3~4を繰り返して調整し終わったら、タイトルボタンを押す

TITLE (T)
■ADJ

6 調整内容をメモリーするとき、ダイレクトボタンを押し続ける(約2秒間)



ユーザーメニューにメモリーされます。

- ・ユーザーメモリーには、タイトルをつけることができます。タイトル入力方法は、「ユーザーメニューにタイトルをつける」(次ページ)をご覧ください。

7 オーディオモードボタンを押して、元のモードに戻る

■LOUD (A)
A-M

■ ユーザーメニューにタイトルをつける

タイトル入力について...

DSF、G.EQ、VSE、P.EQのユーザーメニューにタイトルをつけて、選択したときに表示することができます。

1 オーディオモードボタンを数回押して、タイトルをつけたい調整モードを選ぶ

■LOUD (A)
A-M

2 バンドボタンを押して、「USR」(ユーザー)を選ぶ



ユーザー画面を表示します。



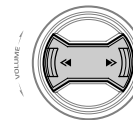
3 ダイレクトボタンを押して、タイトルをつけたいユーザーメモリーを選ぶ



4 タイトルボタンを押す

TITLE (T)
■ADJ

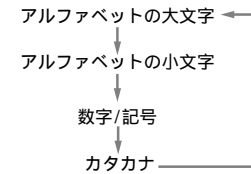
5 サーチコントロールボタンの◀◀または▶▶を押して、入力位置を決める



6 ディスプレイボタンを押して、文字の種類を切り換える

DISP (D)

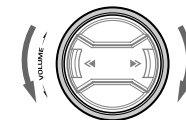
ディスプレイボタンを押すたびに、次のように切り換わります。



入力文字の種類

- ・アルファベット大文字
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
- ・アルファベット小文字
a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
- ・数字/記号
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
. , ' : ; ! ? * # \$ % & * + - x / = () < >
" → ← ↑ ↓ ↖ ↗ ✪ ✫ ✬ ✭ ✮ ✯ ✰ ✱ ✲ ✳ ✴ ✵ ✶ ✷ ✸ ✹ ✺
- ・カタカナ
アイウエオカキクケコサシスセソタチツテト
ナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリ
ルレロワランアイウエオツヤユヨ・・・「」

7 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、入力文字を決める



・10文字まで入力できます。

8 手順5~7を繰り返して、タイトルを入力し終わったら、プレイ/ポーズボタンを押し続ける(約2秒間)

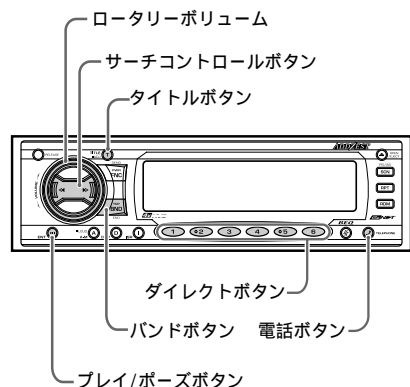
ENT (II)

タイトル表示部に「TITLE MEMO」を表示して、タイトルがメモリーされます。

9 オーディオモードボタンを数回押して、元のモードに戻る

■LOUD (A)
A-M

サブウーファー、オートラウドネス、再生帯域の出力の調整



サブウーファー出力について...
別販DSP(DPH910)に接続した、サブウーファーの出力調整を行うことができます。

オートラウドネス(Auto Loudness Control)について...

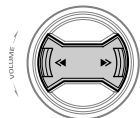
DSP(DPH910)接続時は、音量に応じて低音と高音を自然に強調するラウドネス機能と小音量時に聴こえにくくなる小レベルの音を自然に強調するコンプレッサ機能を、組合せたオートラウドネスに変わります。また、コンプレッサの効果量を0~10の範囲で微調整することができます。

1 タイトルボタンを押し続けて(約1秒間)、アジャスト選択表示にする



ディスプレイに「DIMMER LV」を表示します。

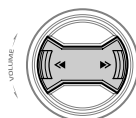
2 サーチコントロールボタンの◀または▶を押して、「SOUND」を選ぶ



3 プレイ/ポーズボタンを押す



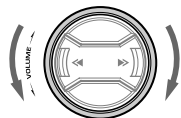
4 サーチコントロールボタンの◀または▶を押して、調整項目を選ぶ



押すたびに、設定項目が切り換わります。

A.LD LEVEL	A.LD(Auto Loudness)により、ラウドネスを固定したまま、効果量を11段階(0~10)に調整できます。
WOOFER OUT	ウーファースピーカーの本数によって切り換えます。 (OFF MONO ST) モノラル(MONO)またはステレオ(ST)に設定すると、ウーファervolumeを調整することができます。調整は、オーディオモードボタンを押して行ないます。(0~14)
WOOFER LPF	ローパスフィルターの周波数を設定します。 (50Hz 80Hz 120Hz)
HPF	ハイパスフィルターの周波数を設定します。 (OFF 50Hz 80Hz 120Hz)
TEST TONE	スピーカーの結線確認に使用します。 (F-L F-R R-L R-R W-L W-R ALL OFF F-L)

5 ローターボリュームを時計方向または反時計方向に回して調整する



6 プレイ/ポーズボタンを押して、アジャスト選択表示に戻る



7 タイトルボタンを押して、元のモードに戻る



携帯電話機を操作する

本機は、別販のオーディオコントロール付TEL-LINKユニットを接続することにより、携帯電話機による通話をコントロールすることができます。詳しくは、オーディオコントロール付TEL-LINKユニットの取扱説明書をご覧ください。

TEL-LINKユニットに接続可能な、デジタル携帯電話については、お買い求めの販売店にお問い合わせいただくか、カタログをご覧ください。または弊社お客様相談室にお問い合わせください。

警告

運転中の電話は大変危険です。電話をかけるとき、または受けるときには車を安全な場所に停車させてから操作してください。

電話をかける (スーパースピードダイヤル)

1 電話ボタンを押す



電話モードに切り換わります。

2 ダイレクトボタン(1~6)を押す



携帯電話機のメモリーダイヤルを呼び出し、登録内容を音声で案内し、更にディスプレイ表示して、自動で発信します。

・ファンクションボタンを押すと、即座にダイヤル発信します。

発信中の表示



受信レベル ↓ 選択No.

CL-DESIGN

0338158155

通話中の表示



通話時間

・本機にメモリーされたメモリーダイヤル番号は変更できません。変更するときは、携帯電話側で変更してください。

3 電話ボタンを押して、元のモードに戻る



通話を終了するには...

バンドボタンを押してください。

着信電話を保留する

バンドボタンを押す



タイトル表示部の相手先名前あるいは電話番号が点滅します。

保留を解除するには...

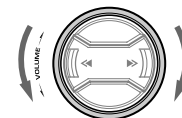
ファンクションボタンを押してください。

通話音量を調整する

1 電話ボタンを押して、電話モードにする



2 ローターボリュームを時計方向または反時計方向に回して、通話音量を調整する



・通話時にローターボリュームを時計方向または反時計方向に回して調整することもできます。

・調整した通話音量はメモリーされます。

・電話モード時の通話音量は、オーディオ時の音量設定と異なります。

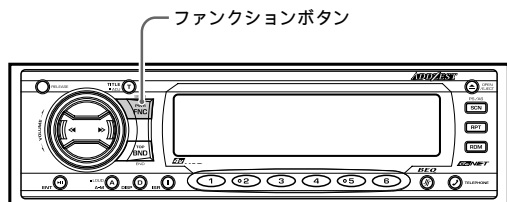
ご注意

通話音量を出すスピーカーは、助手席側のスピーカーを指定してください。

設定を間違えるとハンズフリー通話のときにハウリングを起します。

スピーカーの設定のしかたは、「電話の割込を設定する」(56ページ)をご覧ください。

その他の外部機器を操作する



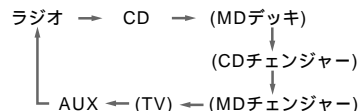
MDデッキを操作する

別販のMDデッキを接続すると、本機の操作でMDを再生することができます。この場合の操作は、「CDを聴く」(41～43ページ)をご覧ください。

ファンクションボタンを押して、MDデッキモードを選ぶ



ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。



携帯用オーディオを聴く (AUXモード)

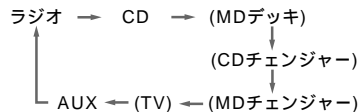
AUXモードについて...

本機に市販のヘッドホンステレオなどを接続して音楽ソースを聴くことができます。別販のCeNET結線対応AUX入力ユニット(EA-1155A)は接続できません。

ファンクションボタンを押して、AUXモードを選ぶ



押すたびに、次のように切り換わります。アクセサリモードになると、接続された携帯用オーディオのプレイ操作で、音が再生されます。



元のモードに戻すには...

ファンクションボタンを押してください。

AUX入力の接続のしかた

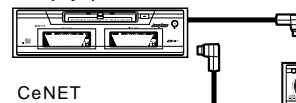
本機のアUX入力RCAピンコードへ市販のコードを使用して、携帯用オーディオを接続してください。

システムアップについて

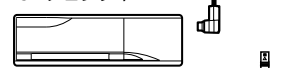
本機は**CeNET**マークのついている外部機器を接続することにより、様々なシステム拡張を行うことができます。

オーディオスタンダードシステム

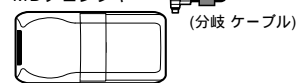
CeNET MDデッキ



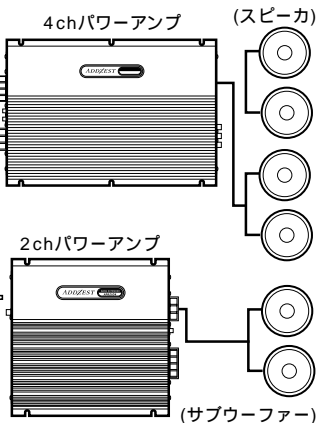
CeNET CDチェンジャー



CeNET MDチェンジャー



CDチェンジャーにMDチェンジャーを増設するときは、CeNET分岐ケーブルが必要です。

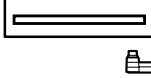


ナビゲーション/テレビ/オーディオ機能をシステムアップ

アドバンスデジタルサウンドプロセッサ

CeNETナビゲーション

CeNET1DINTV



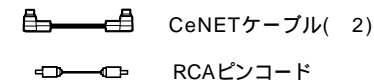
携帯電話機能等をシステムアップ

TEL-LINKユニット 1

ボイスコントロールユニット

音声認識内蔵のDVDナビゲーションの場合には必要ありません。

- 1.TEL-LINKユニットに接続可能なデジタル携帯電話機については、お買い求めの販売店にお問い合わせいただくか、カタログをご覧ください。または、弊社お客様相談室にお問い合わせください。
- 2.システムアップおよびそれに必要なCeNETケーブル等については販売店または弊社お客様相談室にお問い合わせください。また、接続についての詳細は、ご購入商品に付属の取付説明書をご覧ください。



外部機器の操作

■ システムアップについて

CeNETケーブルについて

CeNET接続ケーブルの最大配線長は、20m以下(CeNET分岐ケーブルCCA-519含む)です。接続の際は、下表をご参照のうえ、配線長が20mを越えないように、注意してください。

CeNET 接続ケーブル長一覧表

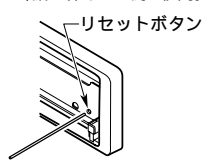
CeNETケーブル同梱機種	ケーブル長
CeNET CDチェンジャー	5m <オス オス>
CeNET MDチェンジャー	5m <オス オス>
オーディオコントロール付TEL-LINKユニット	2.5m <オス オス>
ボイスコントロールユニット	2.5m <オス オス>
CeNET ナビゲーションシステム	5m <オス オス>
CeNET TVチューナー	5m <オス オス>

別販CeNETケーブル	ケーブル長
CCA-519 (CeNET分岐ケーブル)	1m <オスx2 メス>
CCA-520 (CeNET延長ケーブル)	2.5m <オス メス>
CCA-521 (CeNET延長ケーブル)	0.6m <オス メス>

<> 内は、コネクタの形状を表しています。

■ 故障と思われる前に

次のような症状は、故障ではないことがあります。修理を依頼される前に、もう1度次のことをお調べください。

	現象	原因	処置
共通	電源が入らない (音が出ない)	ヒューズが切れている	入っていたのと同じ容量のヒューズと交換してください。 再度切れる場合は、お買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
		配線が不完全	お買い求めの販売店または弊社修理相談窓口にご相談ください。
		アンテナ電源コードまたはリモートオンコードが、金属部に接触してショートしている	本機の電源を切り、アンテナ電源コードおよびリモートオンコードのショートしている箇所を絶縁テープなどで、ショートしないように保護してください。
		パワーアンプ等接続時のリモートオンコードの電流容量不足	接続するパワーアンプ等について、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
	ボタンを押しても動作しない、またはディスプレイが正確に表示されない	ノイズなどが原因で、マイコンが誤動作している	リセットボタンを、細い棒などで約2秒間押ししてください。  リセットボタン リセットボタンを押したときは、設定したプリセットメモリー等が全て消えますので、もう一度設定し直してください。
ラジオ	雑音が多い	放送局の周波数に合っていない	正しい周波数に合わせてください。
	自動選局で選局できない	強い電波の放送局がない	手動選局モードで選局してください。
CD	CDがすぐ出してしまう	CDを裏表逆に入れている	CDの印刷面を上にして入れてください。
		音飛びする ノイズなどが入る	CDが汚れている CDに大きい傷やソリがある
	電源を入れた直後音質が悪い	湿気の多いところに駐車すると、内部のレンズに水滴が付くことがあります。	電源を入れた状態にして1時間乾燥させてください。
その他	ディスプレイに「エラー表示」が出る	自己診断機能がはたらき、障害が発生したことを知らせている	次ページの「エラー表示について」を参照して、内容を確認してください。

外部機器の操作

エラー表示について

本機は、システム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。

障害が発生したときは、各種のエラーが表示されますので、対処方法にしたがって障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作に戻ります。

	エラー表示	原因	対処方法
CDモード	ERROR2	CDデッキ内のCDが引っかかって、イジェクトされないときの表示	CDデッキメカニズムの故障と思われます。お買い求めの販売店または弊社修理相談窓口にご相談ください。
	ERROR3	CDデッキ内のCDに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷やソリのないCDと交換してください。
	ERROR6	CDデッキ内のCDを裏返しに入れ、演奏できないときの表示 ブランクディスク(無録音)を入れた時の表示	CDをイジェクトし、正しく入れ直してください。 録音されているCDと交換してください。
CDチェンジャー	ERROR2	CDチェンジャー内のCDがローディングできないときの表示	CDチェンジャーのメカニズムの故障と思われるので、販売店にご相談ください。
	ERROR3	CDチェンジャー内のCDに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷やソリのないCDと交換してください。
	ERROR6	CDチェンジャー内のCDを裏返しに入れ、演奏できないときの表示 ブランクディスク(無録音)を入れた時の表示	CDをイジェクトし、正しく入れ直してください。 録音されているCDと交換してください。
MDチェンジャー	ERROR2	MDチェンジャーのメカが故障しているときの表示	販売店にご相談ください。
	ERROR3	MDに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷のないMDと交換してください。
	ERROR6	ブランクディスク(無録音)を入れたときの表示	録音されたMDと交換してください。
	ERROR H	MDチェンジャーの温度が上がりすぎたため、自動的に動作を停止させたときの表示	MDチェンジャーの温度が下がるように、まわりの温度を下げてしばらくお待ちください。

上記以外のエラーが表示されたときは、前ページを参照してリセットボタンを押してください。それでも復帰しない場合は、本体の電源を切り、お買い求めの販売店にご相談ください。

仕様

CDプレーヤー部

周波数特性	: 5Hz ~ 20kHz ± 1dB
SN比	: 100dB
ダイナミックレンジ	: 95dB
高調波ひずみ率	: 0.01%

FMチューナー部

受信周波数	: 76.0MHz ~ 90.0MHz
実用感度	: 9dBf
50dBクワイティング感度	: 15dBf
SN比	: 70dB
周波数特性	: 30Hz ~ 15kHz ± 3dB
分離度	: 35dB(1kHz)
高調波ひずみ率	: 0.3%(1kHz)

AMチューナー部

受信周波数	: 522kHz ~ 1,629kHz
実用感度	: 28dB μ
SN比	: 50dB

オーディオ部

D/A変換	: 24bit 128倍オーバーサンプリングアドバンストマルチビット
3バンドEQ BASS(30Hz)	: +15dB, -12dB
MID(1kHz)	: ±12dB
TREBLE(10kHz)	: ±12dB
ラウドネスコントロール	: +8dB(100Hz) (音量ステップ17)
ラインアウト出力レベル	: 4V(CD1kHz)

BEQ部

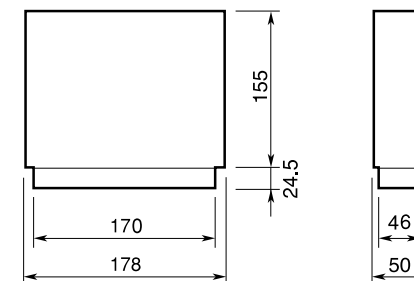
BEQ 5モード	: BASS BOOST IMPACT EXCITE USER CUSTOM TONE BYPASS
----------	--

AUX部

入力感度	LOW : 650mV(4V出力時)
	MID : 1.3V(4V出力時)
	HIGHT : 2.1V(4V出力時)

共通部

電源電圧	: DC14.4V
接地方式	: マイナス接地
消費電流	: 3.0A(1W時)
ヒューズ定格	: 3A
外形寸法	本体部 : 178(W) × 50(H) × 179.5(D)mm [取付寸法: 155(D)mm]
	リモコン部 : 32(W) × 56(H) × 24(D)mm
質量	本体部 : 1.6kg リモコン部 : 30g(電池含む)



付属品

取扱説明書	1部
取付説明書	1部
修理相談窓口リスト	1部
保証書	1部
電源コード	1本
セムス六角ボルト	5本
サラネジ(M5 × 8)	4本
リモコン(RCB-147)	1個
電池(CR2032)	1個
拡散シート	1個

* これらの仕様およびデザインは、改善のため、予告なく変更する場合があります。

その他

アフターサービスについて

保証書

この商品には、保証書が添付されています。お買い求めの際、販売店で所定事項を記入いたしますので、記入および記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。なお、保証書は再発行いたしませんので、ご注意ください。

保証期間

お買い求めの日より1年間です。

万一故障が発生した場合

保証期間中に、正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証の記載内容に基づいて、無料で修理いたします。

お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

保証期間経過後の修理について

修理することにより性能が維持できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

クラリオン株式会社

本 社 〒112-0001 東京都文京区白山5-35-2

TEL. 0120-112-140 (フリーダイヤル)

お問い合わせは、お客様相談室へ

ご購入年月日	年 月 日
ご購入店名	
	TEL.
製造番号	

お客様へ..... ご購入年月日、ご購入店名などを記入されると、あとでお問い合わせされるときに便利です。

Free Manuals Download Website

<http://myh66.com>

<http://usermanuals.us>

<http://www.somanuals.com>

<http://www.4manuals.cc>

<http://www.manual-lib.com>

<http://www.404manual.com>

<http://www.luxmanual.com>

<http://aubethermostatmanual.com>

Golf course search by state

<http://golfingnear.com>

Email search by domain

<http://emailbydomain.com>

Auto manuals search

<http://auto.somanuals.com>

TV manuals search

<http://tv.somanuals.com>